

Re: 遠見尾根

投稿者 : matsunari ken 投稿日 : 2010 年 12 月 31 日(金)22 時 56 分 7 秒

> [No.1234\[元記事へ\]](#)

初めて山スキーを体験しました。トレースを辿っている限り、スキーは沈まないと思っていたのですが、予想に反し沈みまくり、疲労困憊でした。日頃が増えて減量せねばと真剣に考えました。山本さんが地蔵の頭でテントを張ると言われて一番嬉しかったのは間違いなく私だったと思います。元気だったのは皆様から頂いた美味しい日本酒、ブランデー、焼酎を飲んでいる時だけだった気がします。十数年振りにテントに泊まり、雪にまみれて遊んだ事は非常に貴重な体験で森本さん、大森さん、山本さん本当に有難うございました。

Re: 遠見尾根

投稿者 : 山本恵昭 投稿日 : 2010 年 12 月 31 日(金)18 時 30 分 34 秒

> [No.1233\[元記事へ\]](#)

廣瀬健三さんへのお返事です。

私も、高1の3月合宿が遠見尾根でした。
大遠見付近にテントを張って、南里先生や石塚さんたち上級生が五竜岳アタックに行きました。
その間、同級生の八木と、かくねの里めがけて雪の滑り台を作り豪快に遊んだことが思い出されます。

Re: 遠見尾根

投稿者 : 廣瀬健三 投稿日 : 2010 年 12 月 31 日(金)16 時 53 分 18 秒

山本 恵昭さんへのお返事です。

若手皆さんの無事の帰還、結構でした。年寄り森本カンさん、元気で何より。写真を見乍ら、高校生時代のこの尾根での悪戦苦闘を思い出しました。わかんを履いても胸までもぐった、寒かった しんどかった。平井センキチとの喧嘩も今や楽しい思い出。この時のメンバーだった亡き山下チンシ、福永コブクそれに山本三郎先生の写真を見ます。
もはや年の瀬、先輩諸氏諸兄に置かれては、如何お過ごし？ ””去年（こぞ）今年 貫く棒の如きもの””と
はいうものの、矢張り区切りを実感してます。

思親山からの富士

投稿者 : 越田和男 投稿日 : 2010 年 12 月 31 日(金)16 時 48 分 8 秒

真中のえぐれたところが「大沢崩」です。



映画

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010年12月31日(金)14時57分44秒

原作：The Long Walk・1956 刊が映画化されてます。

翻訳 邦題『脱出記』で刊行されています。

第二次大戦下 1941 年、シベリアの強制収容所からポーランド人が七人の仲間と脱走し、バイカル湖ーモンゴルーゴビ砂漠ー六千メートルの山ーチベットーインド迄六千五百キロ以上を歩き抜けイギリス軍に保護された人たちの物語（途中三人死亡）

極限のサバイバル道中「この話、本当なのか」という疑いは残るが、ことの真偽は別として道中の風景が楽しみです。公開時期 未定

また、平井吉夫が訳した『裸の山』ナンガ・パルバートは、映題「断崖のふたり」で新春公開されます。なお登場人物のヘルリンコッファーはメルクルの「弟」で兄ではありません。お間違いなく。

家から見える六甲山が白く雪化粧しています。山は大荒れでしょう。

どうぞ良いお年をお迎えください。

脱出記 予告編

<http://heartattack507.blog84.fc2.com/blog-entry-2921.html>

新春 2 日． B S 10：00 からメスナーが出演するドロミテ山群の番組があります。

Re: 遠見尾根

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年12月31日(金)13時16分32秒

今日は寒いですね。干しているテントの水が融けません。

山の中ではなく、家のコタツで過ごせて幸せです。

29 日五竜とおみスキー場のゴンドラ終点から、リフト代をケチってリフト横をシール登行。

順調に行けたのはゲレンデ内だけで、リフト終点からはスキーを履いても膝から腰のラッセル。雪も降り続き視界も悪い。おまけに、ザックには、大量の酒と鍋の食材。

ゴンドラ終点から 1 時間、地蔵の頭を過ぎたあたりで早々にテント設営。

テントへ入ると靴も履いたまま、カンさん差し入れの旨い日本酒「七本槍」をいただき、ひとごち。夕食はあったか中華風鍋。日本酒、ブランデー、焼酎と完全宴会モードに。
夜半、雪が降り続く。

30日は荒れる予報であったが、早朝は風も止み視界もそこそこ。
小遠見目指してアタック装備で1時間ほど登るが、再び風も出て天気が崩れてくる。小遠見の見える尾根上で黙祷をして、すぐ撤退。
テントでお茶をして撤収し、賑わうグレンデを下り駐車場へ。

消費カロリーより吸収カロリーの方が大きい山行となりましたが、いつもお元気なカンさん、心遣いの大森さん、初めて一緒に山に入ったゆるキャラの松成くん、テントの外は寒くても暖かい年末を過ごせました。



身延の山ふたつ

投稿者：越田和男 投稿日：2010年12月31日(金)11時45分46秒

昨日、一昨日と一泊でJAC図書委員の仲間5人で亡年山行してきました。山梨県最南部の富士川左岸、右岸の山をひとつずつの軽登山と温泉です。

① 思親山 1031m

JR身延線内船駅から細い林道を辿り標高845mの佐野峠に駐車。峠に出たとたん真正面にドカーンと富士の西面がせまり、真中に大沢崩が荒々しい山肌を見せて圧倒的。ここから登り一時間で山頂に達すると、眺望は更に開けて、駿河湾越しに伊豆の山々まで見渡せた。

② 佐野川温泉

宿は富士川左岸の支流佐野川にたたずむ一軒宿。もう2～30年も前になるが、5月の連休中に伊藤文三さん、大関、飯田たちとひと浴びした記憶がある。当時はプレハブ風の掘っ立て小屋の横に野天風呂があった品疎な宿だったが、すっかり建て替わりつぱな宿になっていた。谷間なので眺望はないが、風呂よし、部屋よし、料理もよく、@9500円というのも岳友との亡年会にふさわしく気に入った。

③ 篠井山 1394m

思親山から富士川を挟んだ対岸に独立峰的に聳えるこの山は、最近夏には山ビルが多くて敬遠しがちだが、この季節には熊の心配もなく、最上部は雪の世界で登高意欲も湧いてくる。登りは前日のようにには訳にはいかず、登山口の駐車場715mから気合を入れて大洞川の谷間を凍てついた丸木橋をいくつも慎重に渡りながら、つめて行ったのだが、雲行き怪しく小雪が舞い出した。「渡り場の頭」という地点の近くで、ちょうど下山してきた単独行者に上の様子を聞くと風雪激しく眺望も皆無というので、即下山と決定。

大森君たちの遠見尾根に比べて如何にも軟弱でしたが、高齢者なりの正しい「温泉付き安全山歩き」で今年の山行きを締めくくりました。同行者は、大橋晋、南井英弘、田村俊介、絹川祥夫の諸氏でした。

皆さま良いお年を！！！！

遠見尾根

投稿者：大森雅宏 投稿日：2010年12月30日(木)21時38分35秒

遠見尾根、天気が悪くてあいにくでした。

雪とサケはあったのですが、眺望がさっぱり。

委細は山本リーダーのカキコミご覧ください。(もうすぐカキコミと踏んでいます)

写真は「天気悪いけどこのまま引き返すのもナンやし、ちょっと散歩でもいきましょ」で散歩から帰ったところ。左から 松成・カンさん・リーダー山本。

カンさんのことは常々スゴイと思うのですが、平井さん・越田さん・米山さんの「数年前ラッセル小遠見まで」と言うのもごついなあ。皆さんお元気です。

今年も押し詰まりました。どうぞ良いお年をお迎えください。



(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2010年12月29日(水)00時34分10秒

雪の遠見での追悼酒宴、いいですね。数年前にバブとコッシンと私の三人で、雪をラッセルして小遠見の頭まで行ったことがあります。たぶんカクネ里を見に行ったんだと思います。高校生の頃、大遠見に TENT を張って五竜をねらったけれど、連日の大雪で往生したことを鮮烈に思い出しました。あのときは降り込められた TENT の中で、ポンと喧嘩ばかりしていたのも、今になると、いい思い出、というか、岳友ポンとの絆を強めているようです。

藪内さん追悼登山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2010年12月28日(火)20時05分33秒

今夜発で、1泊2日遠見尾根スキー登山に行ってきます。

メンバーは、カンさん、大森さん、松成くん、私の4名です。

五竜とおみスキー場のゴンドラ終点から、中遠見ぐらいまで登ってTENT泊。鹿島槍を見ながら、藪内さんを肴に一杯呑む計画です。

しかし、天気が悪そうなので、小遠見、あるいは地蔵の頭ぐらいで早々にTENTを張って、雪見酒ということになりそうです。

Re: 塩崎さんへ

投稿者：管理人 投稿日：2010年12月28日(火)15時49分3秒

> [No.1224\[元記事へ\]](#)

田邊 潤さんへのお返事です。

C Dで大丈夫です。

ファイル番号ごとに説明を付けてください。

塩崎

塩崎さんへ

投稿者：田邊 潤 投稿日：2010 年 12 月 28 日(火)09 時 32 分 30 秒

仰せに従い写真を送ります。メールに添付するのも面倒なので CD に入れて送っても良いですか？ あまり良い写真がないのですが、いずれにしても来年になります。飯田さんご了承ください。プリントは雪見会にもっていきます。

MR平井 お二人

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 12 月 26 日(日)17 時 58 分 56 秒

一昨日届いた日本山岳会の会報にて、仙吉（同期の平井吉夫）が平井一正先生の著書「我が登山人生」を紹介しています。其の紹介文、さすが著述業で食ってるだけあって秀逸なり。内容は概ね次のとおりです。

登山家と学究と言う二足のわらじを見事に履きこなしている。何れのわらじもおろそかには履かぬという意地と心意気のなせるわざであった。それはもうダンディムと評して良いだろう。

傘寿を目前にして”私は昔から幸運の女神がついていてと信じているが、人生の終盤に来てその感を強くしている”と述べる事の出来る著者にとって、一大痛恨事は愛妻に先立たれた事であった。本書の掉尾を飾る亡き妻を偲ぶ一章が胸を打つ。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2010 年 12 月 18 日(土)07 時 05 分 19 秒

アルバムに写真を UP するのは管理人です。

読者の方が自分で UP することはできません。

管理人に写真を送ってください。

メールに添付して塩崎まで送ってください。

飯田さんへ返答

投稿者：田邊 潤 投稿日：2010 年 12 月 17 日(金)16 時 35 分 32 秒

あまりにたくさんの写真を撮りすぎて自分でもまだ 1/3 くらいしか見ていません。私は写真家でもありませんので、表に出すのは恥ずかしいです。それよりもなによりもアルバムにアップする仕方を知りません。塩崎さんおしえてください。

ガチャ

写真

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 12 月 15 日(水)09 時 36 分 33 秒

ガチャサン。インドヒマラヤの旅の写真 いいとこアルバムにアップしてください。

藪内さん追悼登山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2010年12月14日(火)23時43分15秒

1年先輩の藪内さんが冬の鹿島槍で遭難されて25年が経ちます。
大森さんと、追悼登山「藪内さんを肴に山で一杯呑もう」に行こうと相談中です。
冬の鹿島槍山頂にというわけにも行かないので、五竜スキー場ゴンドラ終点から山スキーでしばらく登り、遠見尾根の鹿島槍が見える適当なところで1泊。あんまり上まで行く気はありません。
天気にもよりますが、鹿島槍をめながら一杯呑もうと思います。

28日夜神戸発、29日入山。30日下山し、夜神戸着の予定です。
年末の忙しい時期ですが、どなたか参加される方は居られませんか。
装備等の準備の関係が有りますので、参加される方はご連絡をお願いします。

インド・ヒマラヤの旅

投稿者：南井英弘（KGAC） 投稿日：2010年12月14日(火)20時48分48秒

田邊 潤様、越田和男様

この度、ダーズリン、シンガリラ、シムラの旅では大変お世話になりました。

毎日良く食べ、毎回「食べ過ぎた」と言いながら誰一人下痢もせずに、ヒマラヤの姿に感激し、好天気恵まれた思い出深い日々を過ごすことができました。
お蔭様で50余年来の念願を満足裡に果たす事ができ有り難く厚く御礼申し上げます。

また、ガチャサンから早速2つの立派なカメラで撮られた貴重なヒマラヤの写真と風景などが入った全ての写真のCDをお送り下さり有り難く感謝しています。

越田さんには煩わしいマネジャー役を引き受けていただきましたお陰で観光に専念できました。有難う御座いました。

遅くなりましたが先ずは御礼まで

新兵庫人

投稿者：kannroku 投稿日：2010年12月13日(月)21時42分36秒

福田さんの紹介のWEBページです。http://www.kobe-np.co.jp/info/hyogo_jin2/83.shtml

11月7日付の神戸新聞の記事から

投稿者：福田信三 投稿日：2010年12月12日(日)14時53分31秒

表記のコピーをアップします。

サイズ制限のため文字がやや不鮮明です。

鮮明な画像をご希望の場合はおっしゃってください。個別に対応いたします。

新兵隊人

第20部 岳人賛歌

標高4890メートルのキヤンパから、双眼鏡で若い隊員2人のアタックを見守った。6805メートルの頂上まで残り10分。1人は酸素不足による高度障害で意識がもうろうとなり、深い雪に阻まれ、体が前に進まない。下山に必要時間を考えると、アタックにかける時間はもうほとんどなかった。

下山すべきとの意見もあった。しかし、隊長の井上達男(63)はトランシーバーで指示した。「あと30分頑張れ」

① 学術登山の伝統

晴れた。隊長の判断が正しいとは言うまでもない。往時の長い時が過ぎた。再びトランシーバーを握り、「状況報告願います。そろそろタイムリミットです」と問

いかけると、「雪庇の上に出た」と返答があった。そこが未踏峰ロブチンの頂上だった。

2009年11月7日午後3時36分(日本時間午後4時36分)。6人の神戸大学登山隊は、中国・チベット自治区東部の未踏峰シェリカシリ(7380メートル)で頂を踏んだ。

井上は兵庫県養父市に生まれ、県立西脇高、神戸大工学部に進学。山岳部ではリーダーを務めた。「高い山を制するナンバードンより、オンリーワンを目指す」。人類の未知に挑戦する学術登山のバイオニアワークこそが、1915年発足の同部の精神だった。

O.B.会の山岳会でも活躍し

人類初の頂を求めて

とか競争心が消えて、純粋な気持ちだけが残る」

見据え限りの「誰も見たことがない景色」。美しさにハッとし、味わったものがない達成感に熱くなった下山後、恩師に言われた。「次は後輩のために」

「頂上では世界一への野心が燃え、純粋な気持ちだけが残る」

リカルボ山群の未踏峰ルオニイ(6882メートル)に挑んだが、悪天候に阻まれて途中断念。前任先の米国でその結果を聞いていた井上は帰国後、山岳会会長を打診された。若い部員が盛り、O.B.の高齢化も目立つ。ルオニイ敗北も影を落

した。悪天候で会社社長を務める井上は、撤退も考えたが「苦境にあえて挑戦し、乗り越えよう」と6年に就任。同山群への再挑戦を掲げ、3年間の準備を経て、中国地質大との合同登山隊を結成した。

ロブチン登山は天候にも恵まれ、つかむことができた。「こそすれば成功」という道筋はない。チームワークで障害を越えていく。それが醍醐味であり、また次に引き寄せられる。「地球上にはまだまだ未踏峰がある」。挑戦は続く。

(敬称略)

4面に続く

この連載は毎週日曜日に掲載します。



ロブチン登山を果たした神戸大登山隊隊長の井上達男さん。神戸で小学校時代を過ごし、六甲山のロックガーデンが遊び場だった＝神戸市東灘区(撮影・内田世紀)



JACのゆるやか山歩き

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010年12月10日(金)13時45分57秒

先日の当該東山36峰山歩きの途中で、武田薬品工業の薬草園のふちのフェンスを辿り乍らフト、""ごんた""だった国ぼんの事を思い出しました。この歩きも来月で終わり、次は待望の比叡山登山です。去る4月から始まった京都の山歩き完結後のそばやでの懇親会が今から楽しみです。

北インドの旅

投稿者：越田和男 投稿日：2010年12月9日(木)12時11分46秒

先月後半の2週間、印度の各地でヒマラヤ見物の旅をして来ました。行先はダーズリン、シッキム、シムラなどです。各地で天気に恵まれ結構な山見遊山でした。メンバーは関学OBの南井氏ご夫妻、国学院OB大橋氏、それに賀茶さんと小生の5名。旅の概略下記します。

①ダーズリン滞在：

世界遺産のダーズリン山岳鉄道に揺られてのダーズリン入り。有名なタイガーヒルから夜明けのカンチェンジュンガを遠望に先ず感激。また一泊でシガラ尾根上（インド・ネパール国境稜線）のサンダクプーというところにある山小屋にも。強烈な悪路、急傾斜のジープでの登降はスリルもありました。ここは、その昔、昭和6年に田口一郎さん、昭和11年に伊藤愿さんが訪ねたところ。遠くにエヴェレスト、マカルーなど。カンチはより迫力をもって聳えていました。

② シッキムの旅：

旧シッキム王国を訪ね、山麓のリゾート？ペリンと首都のガントクに其々2泊。ペリンからは秀峰シニオルチュ

ーを望めた。標高差 1 0 0 0 mを何度もアップダウンするシッキムの田舎道のドライブが良かった。お化けのような大型ポインセチアの群落と桜の花の共存にはビックリ。シッキムに入ると所謂インド系の人は数少なく、土着のレプチャ族か、チベットまたはネパール系の顔立ちが多く、その言動も我々日本人は居心地が良い。

③ シムラ訪問：

一旦デリーに帰ったあと、鉄道で北上し、カルカーシムラ山岳鉄道（これも世界遺産）に。この日は10時間以上の列車旅でシムラに。ここは英国統治時代のインド政庁の夏の首都だったところで、その昔、各国遠征隊・登山隊が準備・旅支度を整えたところ。急傾斜の地に広がる町並みには英国時代の雰囲気も残っている。日本人は見かけないが、主として英米人の観光客が目立った。ここでも郊外へのドライブに出かけ、「ザ・グレート・ヒマラヤ山脈」を遠望した。山座同定出来たのはシプリンのみだったが、帰国後調べてみるとディオ・チバなども見えていたはず。

小生の写真の出来栄えにはガッカリ。賀茶さんのカメラと腕に期待。

掲示板が使えません

投稿者：管理人 投稿日：2010年12月9日(木)06時01分28秒

12月11日日曜日はサーバーがメンテナンスの為此の掲示板が使えません。

12日には使えるようになりますからご辛抱を。

雪見会

投稿者：田邊 潤 投稿日：2010年12月8日(水)10時36分24秒

飯田さん

雪見会参加します。

ついでに、カンチエンジュンガ展望トレッキング(歩いておりません)良かったで。80～90%の満足度かな。サンダクブー3600mからの展望が一番良かったかなー。寒かったけど。

一番のハイライトはシムラでした。ダーズリンより良かった。ゴッシンのお勧めで行ったところですが、もう一度行きたい。100%の満足度。ヒマラヤの西半分(と思います)が全山展望できました。

ガチャ

Re: スキー

投稿者：塩崎将美 投稿日：2010年12月6日(月)10時49分16秒

> [No.1210\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

3泊4日です。

参加者は雨宮、水渡、安井、塩崎の4人です。

塩崎

スキー

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 12 月 6 日(月)09 時 36 分 18 秒

鈴木君とは、昭和 37 年タンボ平で滑って以来です。あの時彼が一番うまかった。懐かしいね。一月 10 日から、行きたいね。何日間行くの？

Re: 雪見会

投稿者：塩崎将美 投稿日：2010 年 12 月 6 日(月)05 時 55 分 16 秒

> [No.1207\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

同期の鈴木がスキー再開します。

雪見会に連れて行きます。

私の今シーズンの初滑りは 23 日から鱒ヶ沢へ行きます。

来年の初滑りは 1 月 10 日から妙高を予定してます。

もと簡保の"妙高の森"は設備も良く食事もそこそこ。

平日でスキー場もガラガラと思います。

一緒に滑りませんか？

塩崎

先生のスキ-

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 12 月 5 日(日)07 時 11 分 11 秒

惜しくも先日亡くなられた、山本三郎先生の見事な滑りを思い出しました。あれは、1956 年の 12 月の甲南高／中学山岳部の遠見尾根合宿の時でした。先生が遠見の深い新雪をものともせず、豪快に滑っておられました。自分もあのように滑りたいナアと思いました。来年 1 月 10 日の高校同級生の新年会で、毎年お願いしている乾杯の音頭と軽妙なスピーチを期待していただけない夢想だにしまった御逝去は残念無念。合掌

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 12 月 4 日(土)08 時 59 分 34 秒

スキーシーズン到来。皆さん初滑りは何処ですか。

来年の雪見会。1 月 22, 23 日中心に、拇池高原 前田館で行います。

サンデー毎日が大半のメンバーが、わざわざ土、日にやるのは、勤めのあるかたや、家族ずれの方々に、思っていること。奮ってご参加ください。

詳細は年が明けてから。

色々と

投稿者：柏 敏明 投稿日：2010 年 12 月 3 日(金)09 時 54 分 45 秒

山本先生の思い出は、山に関しては時代がずれていたのか余りありません。
山岳総会のあと、よく六甲の兄貴の家でニコニコしながら麻雀をされていたお姿が
一番目に浮かびます。謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

竹中統一さんが、先日、岳人の取材を受け、1 月 15 日発売の「岳人」2 月号に
記事が掲載されるそうです。現役時代の事にも触れられているそうですので、
是非、読んで下さい。

彼は今度の掲載で「山と溪谷」と「岳人」の二大山岳雑誌を制覇した
ことになります。

年が明けるとスキーシーズン。

来年は鈴木（功）さんも始められることでしょう。

水渡さん、安井さんに続いて、又、追い越されそうです。

初心に帰って頑張りますので、皆様のご指導の程をお願いします。

Re: 訃報

投稿者：越田和男 投稿日：2010 年 12 月 1 日(水)14 時 45 分 52 秒

印度シッキム州の首都ガントク滞在中に山本先生の訃報に接しました。（賀茶さんも一緒でした）
想えば、小生の甲南入学と同じ年、昭和 26 年に先生も甲南に来られ、それ以来 60 年の長きにわたりお
世話になりました。特になり手の少なかった山岳部の顧問を再々お引き受けいただいたことや、奥飛騨中尾
の集会にもしばしば奥様もご一緒に参加されたことなど思い出しております。ご葬儀にも出れず失礼をいたし
ました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

訃報

投稿者：武田 雄三 投稿日：2010 年 11 月 26 日(金)09 時 59 分 39 秒

名誉会員 山本三郎先生が風邪を拗らせ昨日急逝されたとの報が入りました。

去る 10 月米寿を祝われたばかりとの事、生前のご指導を感謝し此处に慎んでご冥福をお祈り致します。

合 掌

ご葬儀関連次の通り

お通夜・・・11 月 26 日（金）午後 6 時～

告別式・・・11 月 27 日（土）午前 11 時 45 分～午後 1 時

場 所・・・平安祭典 西神会館 地下鉄西神中央駅から北へ徒歩 4 分 神戸市西区美賀多台 9 - 2

TEL 078-992-4200

喪主…ご令室 山本千栄子様

山岳会より弔電・生花一対手配致します。

御嶽山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2010年11月21日(日)23時50分26秒

神戸大山岳部の御嶽山雪練合宿を覗いてきました。

学生・大学院生合わせて8名、技術的にはこれからという所ですが、活気が有って良い雰囲気でした。

本日下山メンバーと解散後、以前から気になっていた油木美林に行ってきました。

駐車場から1時間ほどの散策。

木曽ヒノキの母樹保安林とのことで、大小様々なヒノキの美しい森でした。

迂闊にものんびりし過ぎて日が西に傾くと、ヒノキの森は急激に暗くなってきました。薄暗い森の中で木肌の美しさに迫力が加わり、動物の気配も感じて、圧倒されて下ってきました。

平井先生の講演補遺

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010年11月19日(金)07時04分24秒

先に触れました先生の11月13日の講演で話された次の言葉が印象深かったです。

”””絶えず新しい事に挑戦する、これは学問や登山／探検も同じ、挑戦の目標が高く困難なほど、其の達成感が大きく、又次への挑戦の原動力に成る。”””

”””何事も夢を持って挑め、必ず扉は開かれる。”””

納得性あります。学問、探検などとても、登山もたいした事なしの小生もなんとなく

理解できました。日本山岳会関西支部報に当該講演の報告書を書くはめになり、只今原稿を書いています。年寄りに成ると、朝早く目が覚めるので、書いたりするのに、好都合です。

お知らせ「岳人12月号」

投稿者：井上 知三 投稿日：2010年11月17日(水)07時00分45秒

「岳人12月号」が発売日に当方に送られて来ました。月曜日に越田 和男 先輩が先に掲示板に書かれている内容と重なりますが全文をご報告いたします。

内容は会報ノートの欄 207 ページに掲載されております。

「ご他聞にもれず、わが山岳会も高齢化の真っ只中」を象徴するように、最長老の訃報が報告される。享年94歳の佐野源一氏。満州で終戦を迎え、11年間のシベリヤ抑留の経験であることなど、故人の人となり、会員たちの文書によって語られる。

一般的な会報のように、山行記録中心の内容でなく、海外登山の記録、論考、随想、会員短信、ホームページ掲示板などで構成される。

論考は読み応えがある。「雪崩学の危険」は過去の記録的な雪崩を列記した文。昭和13年12月には、黒部ダム工事現場で雪崩が発生。コンクリート造りの宿舍が吹き飛ばされ、工事関係者が84人が死亡。

昭和 29 年 11 月末には富士山吉田大沢の表層雪崩で、大学生 15 人が圧死した。劔沢小屋や大日平小屋からスキー場での雪崩事故まで、あまり知られていない戦前戦後の事故事例集になっている。「山岳会ホームページ掲示板より」で各会員活動の様子が記録され多種多様な動向を伝えている。読み物的面白さのある会報だ。と掲載されております。

12 月号の特集は「2010 年山岳遭難を振り返る」など久々に山岳雑誌を見ると以前（学生時代）との様変わりに驚きでした。

講演

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 11 月 16 日(火)07 時 24 分 49 秒

去る 13 日（土）大阪府立中央図書館で J A C 関西支部恒例の「著者と語る会」があり、平井一正先生の講演がありました。先生のお人柄がにじみ出る素晴らしい講演で、後の飲み会も H O M E L Y な雰囲気でした。""京大山岳部はあだ名で呼び合っていた、今でもあだ名しか出てこない御仁もいる。自分のそれは ポコだったがベベとか、其の意味チョット憚るもの多し。""などの披露もありました。又チョゴリザ遠征の時、マライーニやボナッチイのいたイタリ-登山隊と--山の大尉--と一緒に歌った。彼らは凄く歌が上手かった。彼らの捨てていった缶詰を拾った。其の一つを 12 年前にボナッチイが来日した時見せたら、驚いていた。""など披露されました。其の赫々たる登山実績もスライドを B A C K に話されました。P S : ベベ こと甲南高の同期笹谷哲也君は体調崩しており、大好きな酒も絶ってる由、快男児の回復を祈るや切。

「岳人」に山嶽寮の紹介

投稿者：越田和男 投稿日：2010 年 11 月 15 日(月)21 時 35 分 34 秒

本日発売の「岳人」2010 年 12 月号に「山嶽寮」第 65 号の紹介記事あり。
『……一般的な会報のように、山行記録中心の内容ではなく、海外登山の記録、論考、随想、会員短信、ホームページ掲示板などで構成される。論考は読み応えがある。……読み物的面白さのある会報だ。』との評価です。

もともと、山嶽寮は部内雑誌的な内輪の機関誌として発足して現在に至っておりますが、これまでも、内容に接した部外者の方々から読み物としての面白さは指摘されて今日に至っております。今号も全く無関係のかたからそのような評価をされたようで、大変喜ばしき限りです。編集の福田さんのご尽力に感謝いたします。

「岳人」12 月号、お買いになるか、本屋で立ち読みされるかして、是非お目通し下さい。

ご案内

投稿者：武田 雄三 投稿日：2010 年 11 月 14 日(日)20 時 22 分 42 秒

’08 ドイツ・オーストリア・スイス合同製作の「アイガー-北壁」が、11/27（土）～12/10（金）阪急宝塚線「売布神社」駅前 ピピアめふ 5 F「シネ・ピピア」にて上映するとの案内が有りました。

トニー・クルツの悪天候下の北壁アタックが、壮大なスケールで描かれているそうです。

{期間} により上映時間が下記の通り異なりますのでご注意ください。

{11/27 土～ 3 金} 12:15～ 16:55～
{12/4 土～10 金} 14:40～ 19:20～

{料金}

一般……1,500 円 学生……1,300 円 シニア（60 才以上）……1,000 円
夫婦……半 額

岳人賛歌、11月7日の神戸新聞より

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 11 月 11 日(木)18 時 51 分 23 秒

朝刊の一面に大きく井上達男氏の写真と文面が載ってます。4 面には平井一正先生も写真と共に載ってます。K A C 関係の箇所を下記します。

六甲山を抱く兵庫は、多くの探検家を育てた。芦屋で育ち、六甲山が庭だった地質学者の故藤田和夫。旧制第三高等学校(現京都大学) 時代から海外遠征を始め、自然人類学者の故今西錦司や国立民族博物館初代館長の故梅棹忠夫らと、中国、大興安嶺やカラコルム山脈に挑んだ。旧制甲南高等学校（現甲南大学）山岳部は六甲山で鍛えた岩登りを武器に、北アルプスに「甲南ルート」と呼ばれる登山ルートを 21 も築いた。

井上氏は昨年の神戸大のチベット登山隊の隊長としての紹介で、平井先生は神戸大山岳会前会長で、長く兵庫の学術登山をリードしたとの紹介あり、無論、先生が当該チベット遠征に深く関わっておられる事も記されています。

Re: カニ・キノコの会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2010 年 11 月 9 日(火)21 時 14 分 33 秒

> [No.1193\[元記事へ\]](#)

今年は穏やかな天気の中、大漁とはいえないまでもそこそこキノコも収穫できました。

いつもの場所で、カニとキノコの美味しい鍋を賞味しました。

香住鶴の冬季限定「ひやおろし」や皆さんが持ち寄りいただいたいろいろな酒類で少々飲みすぎましたが、皆様と楽しい時間を過ごさせていただきました。ご参加の皆様、有難うございました。

浜坂港の競りはあまり漁がなかったようで、諸寄港へ移動し、カニとハマチをゲット。帰ってから、ご馳走続きの夕食を楽しんでいます。

今日は冬型、多分扇の山は雨が雪でしょう。もう一度くらいメコ狙いで入山したいものです。

宝塚山の会の和泉さん、25 年ぶりの再会でした。薮内さんが鹿島槍で遭難されて 25 年。扇の山の駐車場で「薮内さんが生きていたらなあ…。この冬に鹿島槍に追悼登山に行きましようか。」「無理無理。松本の要さん宅に集まって追悼飲み会なら…」という話を大森さんとしていたところでした。

Re: 続お知らせ

投稿者：越田和男 投稿日：2010年11月8日(月)22時53分6秒

> [No.1191\[元記事へ\]](#)

武田 雄三さんへのお返事です。

神戸新聞にどんな風に載ったか、どなたか記事をスキャナーして掲示願えればよいのですが。よろしく。

> 先に取材を受けました神戸新聞社の大型企画「兵庫人」、掲載日が決定しましたのでお知らせします。

>

> 掲載日……11月7日（日）朝刊

>

> 尚、テーマが「学術踏査の伝統」と甲南には無縁の事に付き、紙面スペースは些少との案内が有りました。

> お含み置きの上購読願えればと思います。

扇の山で

投稿者：大森雅宏 投稿日：2010年11月8日(月)22時07分36秒

先日登った扇の山の頂上でばったり宝塚山の会の和泉さんにお会いしました。

私の2年後の学年の薮内昭博君が甲南卒業後所属していた山岳会の方です。

薮内君たちの事故から25年ですねなど、和泉さんと面識のある山本君も交えて立ち話。

あの節は大変お世話になりました、甲南の皆さん方にどうぞよろしくお伝えください、と御挨拶いただきました。

薮内君のために、甲南A Cの皆さんから寄せていただいた金額は250万円ほどであったと記憶しています。

多くの方々にご協力いただきましたことをありがたく思い出しながら、和泉さんの御挨拶を掲示板拝借してお知らせいたします。

カニ・キノコの会

投稿者：今回は匿名 投稿日：2010年11月8日(月)21時52分52秒

今回事情で匿名参加の ** です。

カンさん武田さん安井さん塩崎さんN川さんリーダー山本君、皆さん有難うございました。

柏さん差し入れおいしくいただきました。

写真添付します。

1 枚目・塩崎さん発見のオオモノ。

2 枚目・宴会風景 1

3 枚目・宴会風景 2



丹沢・三ノ塔； お山は満員

投稿者：越田和男 投稿日：2010年11月4日(木)21時42分41秒

きのう「文化の日」に初めて孫を連れて丹沢を歩いた。日頃、土日や休日に出かけることは無いのだが、孫連れとなれば高速道路の渋滞など我慢せざるを得ない。

それにしても驚いたことに、ヤビツ峠の駐車場は満杯、さらに奥にある知る人ぞ知る菩提峠の駐車スペースも既に満車。やむなく少し離れた林道の路上に留めざるを得なかった。

三の塔までの道のりは、降りてくる人、追い抜いて行く人がひっきりなし。これまで三の塔には十数回登ったが、こんなに賑やかなのは初めてだった。相変わらず中高老年が多かったが、ファッションを競うかのごとく、緑色のトレッキングシューズなど、カラフルないでたちの若い男女が確実に増えています。大学山岳部の復活とは全く無関係ながら、喜ばしいことなのでしょうね。

それにしても、小一の孫について行けないこちらの体力の衰えが情けない。もう1、2年もたてば、うんと重い荷物を担がせて、こちらのペースに合わせさせることを考えねばなるまいが、その頃にはこちらが歩けるなくなるか、孫がジジ離れする方が早いのか。

続お知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2010年11月4日(木)10時42分42秒

先に取材を受けました神戸新聞社の大型企画「兵庫人」、掲載日が決定しましたのでお知らせします。

掲載日……11月7日（日）朝刊

尚、テーマが「学術踏査の伝統」と甲南には無縁の事に付き、紙面スペースは些少との案内が有りました。お含み置きの上購読願えればと思います。

カニキノ会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2010年11月3日(水)18時51分9秒

ヨットでクルージング、あこがれます。私も乗せて下さい。

カニキノ会ですが、今のところ参加予定は、武田さん、森本さん、塩崎さん、浪川さん、匿名希望さん、私の6名です。

私は、6日（土）夜に出発します。

7日（日）10時頃に扇の山の畑が平登山口に集合。

7日は霧ヶ滝マラソンが予定されているようです。途中の林道が一時通行止めになるかもしれません。

今話題の熊に注意して、キノコ狩り。温泉経由で、夜はいつもの公園で焼ガコとカニキノ鍋で宴会。

8日（月）競り市でカニを仕入れて、解散予定。

ほかに参加される方が居られましたら、ご連絡ください。

キャプションが入りませんでした。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2010年10月29日(金)23時10分6秒

写真上から

石鎚山
室戸岬
頑張るドンキチ君です

四国を一周してきました。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2010 年 10 月 29 日(金)23 時 05 分 43 秒

小西さんの 32ft のヨットで瀬戸内海から時計と逆周りで四国を一周してきました。
10 月 13 日に森本さん、小西さん、浪川さん、柏の 4 人で新西宮ヨットハーバーを出港。
小豆島、犬島、美術館の直島と寄港して、多度津では金比羅山に参拝、航海安全の
祈願をしました。ここで三嶺山に向かわれるカンさんは下船。新居浜で遠路横浜から
駆けつけた水渡さんが乗船。レンタカーを借りて石鎚山に登山。新居浜から三机港まで
一気に 85 マイルを機帆走。有名なヨット婆ちゃんに天麩羅をご馳走になりました。

佐田岬を廻って太平洋に入り、釣りを楽しみ、宇和島のジャコ天を味わい、
沖の島母島を経由、土佐清水では清水さばを堪能し、足摺岬を交わして久礼を経て
高知ヨットクラブのゲストバースに。はりまや橋でのカツオのたたきは最高でした。

3 日後にエジプト観光に向かう水渡さんはここで下船。室津では津照寺に詣で、
室戸岬を廻って日和佐に入港。ここまでは極端な悪天候にも会わず順調な航海
でしたが最後に来ました。木枯し 1 号に出くわし、日和佐を出て 18 メートルの
台風並みの北風と三角波に揉まれ、友が島付近では、一人がおでこをぶつけて
たんこぶを作る始末。舷側を波に洗われながら、ほうほうのていで洲本に入りました。
洲本で嵐を収まるのを待って、28 日に 16 日間、約 1,100 km の航海を経て西宮に
帰ってきました。

色々となりましたが、港、港の人々の親切に触れることも出来、思い出深い航海と
なりました。クルーとヨットに感謝、感謝です。只、地方都市のシャッター街や
船はあっても漁師のいない漁港の衰退振りは想像以上に進んでおり、日本の将来が
本当に不安になりました。

山とヨットは共通点が多くあります。自然を相手にし、地図で目的を定め、
天気を読み、今回も数十年ぶりに気象通報（震えながら記録した早朝 5 時頃の
放送は無くなって日に 3 回になっていました）を天気図に記入しました。
装備やロープワークも共通なものが多いです。違いは荷物を担がなくて済むこと位です。

雪便りが聞こえてきました。いよいよスキーシーズンの到来です。
今年もご指導の程をお願いします。



裸の山 映画

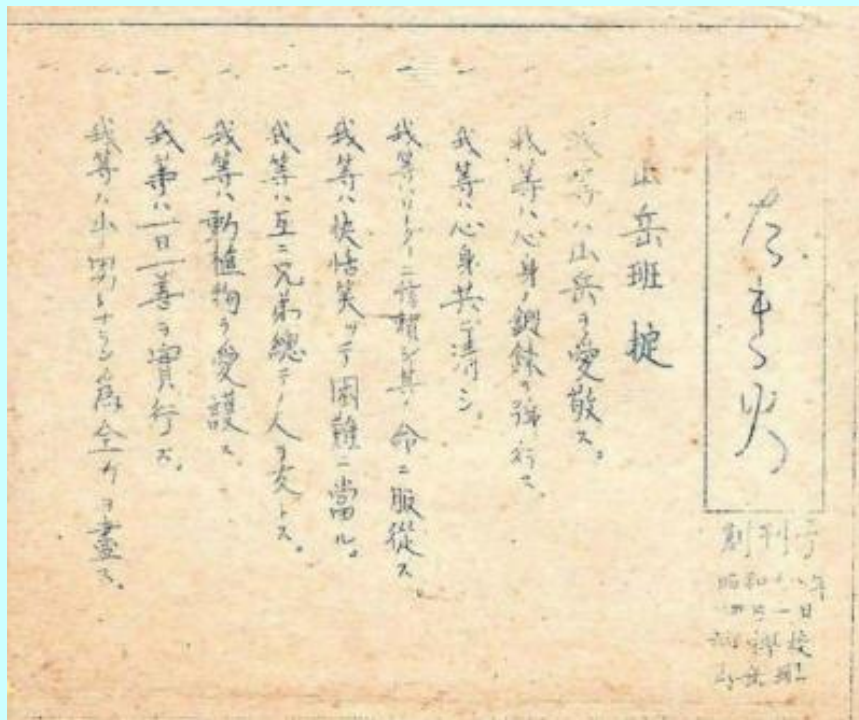
投稿者：平井吉夫 投稿日：2010年10月28日(木)22時51分8秒

いま東京国際映画祭を六本木でやっています。今日、10月28日に、私が訳して最近山谿から刊行されたメスナー著『裸の山 ナンガ・パルバート』を原作とする劇映画が上映されるので、さっそく見に行きました。ほぼ原作通りの、迫力あるいい映画でした。ただし邦題が『断崖のふたり』なんていうチンケなもの。しかも日本語の字幕が山と山用語をまったく知らない人が訳したらしく、いらいらさせられるだけでなく、ヴァリー・メルクルがヘルリヒコフアーの「弟」となっていて、これには悶絶するほど腹が立ちました。来春には一般公開されるという話を聞いていますが、日本語字幕がこのままでは、せっかくの優れた映画をぶちこわすことになるので、なんとか直させたいと思っています。 平井吉夫（センキチ）

六甲学院山岳班の掟

投稿者：福田信三 投稿日：2010年10月26日(火)22時09分16秒

昭和18年4月 六甲学院山岳班（山岳部）の会誌「たき火」の創刊号に掟なるものがありますので、紹介いたします。かなり古く読み難いです。モーゼの十戒を連想してしまいます。しかし、昭和52年で廃部となり現在に至るです。



四国に

投稿者：kannroku 投稿日：2010年10月24日(日)09時42分28秒

武田会長 対談たのしみにしております。

恵昭さん donnkichi 君、kannroku 参加。小西さん、柏さんは四国から帰ってから考えるとのこと。

塩さん 車同乗お願いします。柏君等参加なら調整します。

《四国に》

小西さん等に誘われヨット四国一周（2週間）は無理としても、香川で下船して、三嶺山（徳島ではミウネ・高知ではサンレイと呼んでる）に登ろうと計画を立てる。

10月12日（火）晴 仕事を終えて夜遅く西宮港に。小西・柏・浪川の皆さん等と合流。

13日（水）晴 6時出航～15時30分小豆島大部停泊

14日（木）晴 8時出航 子安観音寺 法王村垣様御夫妻と犬島、直島と瀬戸内国際芸術祭を見て廻る。直島宮浦港停泊

15日（金）晴 7時出航～多度津港停泊 金比羅神宮参拝

16 日（土）晴 6 時下船 小西・柏・浪川の皆さんと別れ一人旅となる。

多度津～JR1 時間 30 分～土佐山田～JR 四国バス 40 分～香美市営バ 30 分～影
13 時 05 分着 交通の便悪く影まで 7 時間

掛かっている。バスに乗る人もなく、最終の影駅に降りたのは、歳老いたお婆さんと二人であつた。高知県側で

あつたのでお婆さんは「これからサンレイ（三嶺）に登られるのか」と声を掛けられた。徳島側のミウネ（三

嶺）より高知側のサンレイ（三嶺）の方が 語呂が良いような響きがする。今日の宿泊予定地八丁ヒュッテ迄林

道を 2 時 間歩いて、光石登山口・・・此处までは車が入り大きな駐車場 がある・・・車が 5 台程停まっていた。

登山口裏手から西熊川を高巻きして堂床東屋を過ぎれば八丁ヒュッテ。影から 2 時間半の歩き。今日はここに泊ま

る。大きな無人小屋での一人だけの夜は怖かった。

17 日（日）晴 6 時 30 分歩き開始。フスベ谷沿いに登り詰め、笹の中の道を登る事 3 時間半で頂上 1893m 三嶺山に。この道中で

は人との出会いなし。頂上には、徳島名頃からの登山者で一杯であった。石鎚は見えなかったが、剣山は遠くに霞

んで見えた。ミヤマクマササとコメツツジに覆われた三嶺はなだらかで綺麗な山だ。頂上直下の三嶺ヒュッテは

人の姿で一杯。そのまま名頃に下山。名頃からの登山者の多さにびっくり。

途中石鎚に登ってる小西・柏・水渡・浪川パーティから元気で登っていると携帯が入る。名頃バス停 12 時 45 分着。 香川丸亀泊。

18 日（月）晴 岡山の鵜木君見舞って帰津。

四国に熊が住んでいないと思っていたが、高知側の三嶺山にはいるらしく、熊情報のたて看板があり、バスの中でも注意するようにと教えてもらった。 楽しい 1 週間でありました。

小西さん等は高知港あたりを航海か。

上の写真～三嶺頂上 下の写真～三嶺ヒュッテ（無人小屋）



お知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2010年10月24日(日)02時21分40秒

先日神戸新聞社より甲南山岳部・山岳会に関する取材を受けました。

これは神戸新聞社の大型企画「兵庫人」の取材で、同社が毎週日曜日に一面と中面で掲載している看板企画、一ヶ月毎に伝統芸能やスポーツ、経済人などテーマを決めて特集されています。

11月は、「山」をテーマに考えている由。一週目＝加藤文太郎、植村直己の系譜、二週目＝学術踏査の

伝統（神戸大、甲南大、関学など）、三週目＝六甲全山縦走、四週目＝岳人新時代となります。

当方としては、小川守正先輩と小生でインタビューを受け、当ホームページに掲載の「甲南山岳部の歴史」と「山嶽寮 75 周年記念号」ベースに質問を受けました。

初めに当山岳部は旧制 7 年制高校でスタート、海外遠征（ヒマラヤ）はたびたび検討されたが、大学・社会人と次のステップのある身分としては控えるべしとヒマラヤ登山の研究（欧州の文献の翻訳等）に留め、良きマウントニアーになる為に国内で鍛えるを方針として運営されてきた事を話しました。。

小川さんより「旧制時代に就いて」スタート時期は学生山岳界の黎明期に有ったが国内に未踏の山は既に無く、必然的に未踏の岩壁・岩稜を求めて激しく競い合う時代で、甲南は 7 年制の特徴で中学生の年齢から岩登りをはじめ得、近くにロックガーデン・堡塁岩・三田の百丈岩等訓練場所に恵まれた為、その上達は目を見張るものが有り幾多の初登攀ルート（21 ルート）の記録を残し得た。「山岳部」と言うより「岩登り部 OR クライミング部」と称する方が相応しいとの話あり。

また「山岳部報告」・「部報」・「部内雑誌」・「時報」・「山岳会通信」・「山嶽寮」と名こそ変われ、現在まで 101 冊の出版物を発行し続け居る事等を披露しました。

山に就いて不慣れな記者の方にとって短時間のインタビューで、難解な言葉の多い分野の記事を如何に纏められるのか心配では有りますが、皆様には楽しみにお待ち下さい。

蒜山

投稿者：塩崎将美 投稿日：2010 年 10 月 21 日(木)07 時 20 分 50 秒

高校の同級生と蒜山を歩いてきました。

私は大山の小屋から、残りは大阪から走り道の駅で集合。

車 1 台を上蒜山登山口にデポ、塩釜冷泉へ。

10 月 15 日

塩釜冷泉 8：45～中蒜山頂上 10：45～上蒜山頂上 11：50～昼食～上蒜山登山口 14：00

中蒜山の登りは稜線までが結構な急登でユックリと登る。

稜線をブラブラ頂上へ、紅葉には少し早かったが天気は快晴で 360 度の展望、遠く日本海、を楽しんだ。

上蒜山へはいったん下り登りなおす。鎖やロープがでてきてここも急登であった。

頂上は木が邪魔して展望はいまいち。

ビールで乾杯。カップラーメンとおにぎりで昼食。コーヒーを楽しんだ後下山。

八合目まで下ると展望が良くなり北に大山/烏が山、足下は蒜山高原。

この下りは割と緩やかで年寄には歩きやすい下りであった。

最後は牧場の中を牛を眺めながら歩き駐車場へ。

のんびりと秋の山を楽しんできました。

写真は中蒜山頂上と途中で咲いていたリンドウです。

塩崎



写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2010年10月21日(木)06時23分35秒

井上君から駒王の秋の集会の写真が送られてきました。

アルバムにUPしました。

Re: カニキノ会

投稿者：塩崎将美 投稿日：2010年10月21日(木)06時05分56秒

> [No.1177\[元記事へ\]](#)

参加します。

7日早朝神戸発で車の同乗者募集。

Re: 剣を跳めてきました

投稿者：横山 咲子 投稿日：2010年10月19日(火)21時45分24秒

> [No.1169\[元記事へ\]](#)

(塩崎将美さんへのお返事です。)

塩崎様

剣岳、ケルン。大好きだった煙草。本当にありがとうございます。

父の喜んでいる姿が、想像できます(^-^)。アルバムにアップされている皆さんの写真、なんだか、本当に！
かっこいいな。と思いました。

本当にありがとうございましたっ。

引き続き、ホームページ掲示板・アルバム写真、楽しみに見させていただいております。

横山咲子

ご無沙汰しております。

投稿者：松山弘和

投稿日：2010年10月17日(日)12時20分57秒

ご無沙汰しております。先日、久しぶりに秋の集会に参加致しました。諸先輩方々にお会いでき、楽しく過ごすことができました。集会で披露した槍の写真を添付致します。写真は友人がグライダーで高山→槍→高山に飛行したときに撮ったものです。来年も時間が取れれば参加したいと思いますが、今回の最年少が私なので、若手OBも参加して頂ければと思います。





カニキノ会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2010年10月15日(金)20時25分42秒

今年もカニキノ会をしようかと思います。

11月6日がカニ漁解禁日。キノコの方は夏の猛暑でどうなっているか予測不能ですが。

6日(土)には仕事が入ってしまったので月曜の休みを利用して、7日(日)8日(月)で行こうかと思っています。

7日10時頃集合し、キノコ探し、夜にはいつもの場所で宴会。8日競りで買い物をして適宜解散予定です。

参加ご希望の方は、メールか掲示板などでご連絡ください。

ヒル

投稿者：阿部康彦 投稿日：2010年10月10日(日)10時46分48秒

話は、6月に戻るのですが、梅雨の曇天の下、友人達と比叡山を歩きに行きました。その前年京都北山町の芦生杉の原生林を散策に行ったとき長さ10cmもあろうかという大きな山ビルを目撃。それまで山ビルに出会った記憶がとんとなく、何と気色の悪い生き物なんだろうと、しばし観察しておりました。さて、延暦寺でとうとう雨。降ったり止んだりの中、大原に向けて下山。一同そろそろ疲れてきたなあと感じ足取りも重くなってきた折、メンバーの一人から悲鳴が。カップについた小枝を取ろうとしたらそれが動き出したのです。「げげげ、山

ビルだ」その山ビルを払い落とし一同疲れも忘れたように転がり落ちんばかりの勢いで一気に大原へ駆け下りました。集落で靴を脱ぐともう一人の両足首で吸血中。慌てて自分の靴を脱いで確認しましたが何もついておりませんでしたが「実に怪しい」と念のため靴をビニールに入れて暫く歩いておりました。10分程経ってじっとビニールを眺めてみると何やら小さいのが蠢いていました。「危機一髪あー助かった」。さて、後日職場で同僚に話しをしたら、山ビルの生息域が急速に拡大しており、珍しくもないとの事。今では雪彦山のあずま屋で TENT を張るとわざわざ吸血にやって来るとの事でした。くわばらくわばら、皆様くれぐれもご注意下さい。

追伸：大森先輩大変ご無沙汰しておりました。先輩の仰る通り、掲示板・山嶽寮はとても素晴らしいコミュニケーションツールです。諸先輩方の過去・現在の記録を拝見しまだまだ負けてはいられないと、勇気とパワーを頂戴いたしました。改めまして有難うございました。

Re: 裸の山 ナンガ・パルバート

投稿者：越田和男 投稿日：2010年10月9日(土)17時43分57秒

> No.1174[元記事へ]

> 『裸の山 ナンガ・パルバート』の刊行の機会に、訳者平井吉夫の講師のもと、下記懇談会が日本山岳会で行われます。参加無料、申し込み不要、JAC 会員外でも参加OKです。この本の原書刊行にいたる経緯や、裏話など聞くことが出来るのでは、と期待するところです。比較的少人数の2次会付きの気軽な集まりです。在京の方は是非足を運んで下さい。

>

> 懇談会：第20回「山を語る」―メスナー兄弟のナンガ・パルバート横断をめぐる―

> 日時 10月22日(金) 18:30より

> 場所 東京都千代田区四番町5-4 サンビューハイツ四番町

> 日本山岳会104号室

> T e l 03-3261-4433

>

> 1970年以来の隊長ヘルリヒコッファーとメスナーの間の今に続く係争だけではなく、遡ってヘルヒコッファー対ヘルマン・ブールのナンガ初登頂をめぐる確執・係争など、登山史の裏面が語られることでしょう。

>

> なお、雨さんもお勧めですが、この本一冊でナンガ・パルバートの悲劇の登山史がわかるようになっています。随所に記録写真もあります。ぜひお買い求めを。

山嶽寮拝受

投稿者：越田和男 投稿日：2010年10月8日(金)09時26分32秒

先ずは福田さんのご尽力に感謝いたします。

今回も旧制の長老伊藤文三さんや小川さんから戦前・戦中のお話、雨さんの論考、そして新制の（比較的）若手までの原稿が盛り沢山。恵昭君のヒマラヤ報告や在米中の元F1レーサー松下ヒロ君からのめずらしい投稿もあり、甲南らしい、恵昭君の云うところのサロン的な、楽しい会報ですね。小生の駄文以外をじっくりと楽しみます。

山嶽寮はもともとは会員向けの内輪の雑誌ではありますが、結構部外者の興味も引く内容もあり、幹事の

方のお手を煩わして恐縮ですが、会員外の関係者各位や、関係諸団体への配布も是非お願いしたいところ
です。

山嶽寮届きました

投稿者：大森雅宏 投稿日：2010年10月6日(水)20時29分6秒

山嶽寮、届きました。

駒王で先に配って来なかったヒトに発送、と思い込んでいましたので思いがけず早く手に取ることが出来てち
よつと驚いています。

福田編集長と井上事務局にお礼申し上げます。

思えばこの掲示板も塩崎さんのおかげで長く続いています。暑い夏の年からもう10年ではないですか。

先輩諸氏の山行から阿部君成松君の消息など、山嶽寮も掲示板も大切なニュースソースとコミュニケーションの手段。「あるから何となく便利」ではなく「関係各位のご尽力に感謝!!」して拝読・カキコミいたします。

久々にテント泊

投稿者：阿部康彦 投稿日：2010年10月4日(月)20時29分26秒

皆様大変ご無沙汰致しております。本日5年ぶりに我が家にパソコンがやって来たので久しぶりに投稿させて
頂きます。子育ても少しだけ余裕ができたので、9月末に職場の友人と3人で西穂高岳に一泊二日とい
ってきました。登山の本格的経験者は私のみのため、何故か皆さんの食料他35kgのを担ぐ事となりました。
山でのテント泊は実に10年ぶり位でしょうか、楽しかったです。しかし、荷物の重さでヘルニア再発し未
だに右足先が痺れています。他、8月下旬より出勤前の朝5時半頃から時々道場の烏帽子岩でクライミ
ングを再開しました。10bはオンサイト問題ありませんが、cはかなりの壁で今後7kg程度の減量が必要
と思われます（2ヶ月で3kg減りました）しかし、日の出がそろそろ遅くなってきているのでそろそろこの楽し
い企画も終わってしまいそうで残念でなりません。何とか10月一杯は続けたいなあと思っています。

紐を跳めてきました

投稿者：塩崎将美 投稿日：2010年10月3日(日)18時05分19秒

掲示板でケルンが話題になった時、安さんが行ってみたいと言いだしケルン往復だけでは勿体ないでと大日
から称名へ下る計画をたてました。

参加者

鈴木オトミさん、森本カンさん、安さん、鈴木功、ドン吉、塩崎。

まずお断り。同期の鈴木を“鈴木”と呼び捨てにするとオトミさんが“なんや”と返事、どうも具合が悪いので旅の
間、大先輩を“オトミさん”と呼ばしてもらいました。

9月26日

7時半に神戸を2台の車で出発、途中オトミさんカンさんを拾い立山駅へ。

1時30分のケーブル、バスに乗り継いで室堂へ。天気は晴れだが紅葉はまだまだ。2003年に横山の奥
さんと娘咲ちゃんを案内した時も同じ9月末でしたが紅葉まっ盛りでした。1週間ぐらい遅れている様でし

た。40分の歩きで雷鳥荘着。さっそく持参の焼酎/ウィスキーで酒盛り。この小屋は綺麗で食事良し温泉良し、いままで泊まった中では最高でした。この小屋に泊まり地獄谷を眺めながら温泉に入り山を眺めるだけでもお値打ち、山を歩かない嫁さん連れて泊まるのもお勧めです。朝起きるとなんだか尻が暖かい、なんと畳がホカホカ、びっくりしました。

27日

雷鳥荘 6:50~新室堂乗越 7:40~ケルン(室堂乗越) 8:05~奥大日岳 9:50~大日小屋
12:15

天気は快晴。雷鳥沢まで下り、橋を渡って新室堂乗越まで30分の登り、稜線を室堂乗越へ。7年前に積んだケルンは少し小さくなっていました。ケルンを積みたし、横山が好きだった煙草を1本供え彼を偲びました。北方稜線から剣西面、立山三山、遠く白山と眺めはバッチリ。いつ来ても気持ちの良い場所です。急な登りも無くだらだらと登り奥大日岳へ。剣は勿論、薬師その後ろに水晶、遠く笠?、剣の後方には後立の五竜岳? 足元は富山平野から富山湾、眺めの良い山でした。

クサリや梯子のある急な下りを下り登り返して大日小屋へ。ガスが出てきたが空身で大日岳頂上往復40分。何も見えず小屋に引き返す。この小屋はランプの宿として女性に人気とか。またオーナーがギター工房の主人(小屋をお祖母さんから引き継いだ)でたまにはギター演奏が行われるのも人気とか。この日も女性客の要望に夕食後スタッフが演奏してくれました。稜線上の小屋故か水が500のペットボトル1本100円(コップで飲むのはタダ)。食事昨日の小屋とは比べたら可哀そうだがこんなものかと諦めてダラダラと飲みつづけました。ただ寝る場所が寒くパッチを履きダウンを着て寝ました。天気が気になり夜中外に出てみると早月、御前、白馬の小屋の明かりが見えました。

28日

大日小屋 6:10~奥大日岳 8:10~室堂バスターミナル 11:10

朝から雨。大日平から称名への下り、牛首の下で大きな崩落があり雨の日は落石の危険大との事(大日平の小屋は今年は営業してません)、室堂へ引き返すことにしました。あの奥大に登るのかと思うと憂鬱でしたが仕方なく雨具をつけて出発。たまに横殴りの雨で止むことのないなか黙々と室堂へ。雨で良かった事は雷鳥を多く見れた事です。空からの天敵に見つからないのでガスたり雨の時に出てきて道案内してくれる様です。

40数年ぶりに山に登る鈴木が心配でしたがさすが、遅れず歩き通しました。彼は足元、靴からザック、雨具まで新品。私は靴の底から水が浸みてきましたが彼はそこそこ降った雨の中を歩いたにもかかわらず靴下も下着も濡れてませんでした。〇〇さんはバイクのフード無しの雨具、下着まで濡れ震えていました。皆さん装備は金を惜しまず良い物を買ってください。

安さんも久しぶりの山歩きでしたが日ごろの鍛錬のせいで強いこと強いこと。とくにこの計画が始まってからは毎日家から風吹まで1時間かからず登って鍛えられたようです。

オトミさんの頑張りには敬服しました。私より10歳も先輩。私は10年後に山に登る自信はありません。1回もシャッターを押さなかったオトミさん。紅葉には早いやろと言うオトミさんを大丈夫と誘いましたが、重いカメラがただの重しになってしまい申し訳なく思ってます。

何時ものメンバー、カンさんドン吉君お世話になりました。カンさんの適切な判断、心強かったです。ドンがバスターミナルに先行メンバーを先導した後、雷鳥沢まで迎えに来てくれた事、感謝感激。

立山駅から氷見の民宿“すがた”へ。温泉に浸かり魚を食べ勿論明日は歩かんでもええんやと飲み。1泊2食飲み代別、9000円でお釣りがくる値段でこの料理と全員大満足。

29日

干物を土産に買い神戸まで帰る。

振り返ると歩きに行ったのか飲みに行ったのかと考えてしまいますが、同期鈴木との久しぶりの山歩き、楽しいメンバー、山も十分眺められたし、楽しい4日間でした。

写真をアルバムにUPしました。

塩崎

早秋の大日

投稿者：kannroku 投稿日：2010年10月1日(金)06時01分22秒

26日～29日まで大日に行ってきました。

まだ紅葉には少し早かったようですが、6人が思い思いに若かりしころの思い出に浸り横山君のケルンを積んで、剣の東面を目の当たりにみて楽しく歩いてきました。

鈴木オトミさんの元気な事。奥大日～大日と元気に歩かれました。

安さんの音頭で計画が実行出来よかったです。

ゲートボールの王者鈴木功君の40数年ぶりの登山、元気な歩きに脱帽。

相変わらず初めから終わりまで檄を飛ばし追い立てる donnkichi 君、まいりました。

今回のすべて手配してくれた塩さんには、ありがとうの一言。

またご一緒させて下さい。

何冊かの古本について

投稿者：松成 健 投稿日：2010年9月26日(日)10時44分4秒

96年度卒業の松成です。

この度、転勤により北九州市より堺市に参りました。

引越しの荷物にいくつかの本が混じておりまして、恐らく現役時代に部室から借りてそのままになっている本だと思います。

今の部室は古い本は捨てたと記憶しております。

もしOBの方で必要な方いらっしゃれば郵送いたしますのでご連絡頂けますでしょうか？

リストは以下です。

岳人 149 昭和35年9月号

168 昭和37年4月号

177 昭和38年1月号

179 昭和38年3月号

1 8 8 昭和38年11月号

3 2 6 昭和49年8月号

Fall Number 36 (終刊号) 沢登り&溪流釣りの本

神戸山岳会「但馬をめぐる山々」昭和37年11月発行

山と溪谷 282 昭和37年8月号

スポーツマガジン 4月号 昭和36年4月号 春山案内

読売新聞 昭和37年7月28日 剣沢大滝 特集

「写真文集 日本アルプス」 深田 久彌 昭和33年発行

時報 甲南山岳部 創立40周年記念号

時報 VIII 1978年 (2冊ありました)

福永 隆一さん 追悼書 昭和33年12月発行

「太平洋戦争」 昭和59年9月発行

「山、人、山歩き PARTⅢ」 1999年3月発行 (弁護士さんの山歩きの会の会誌)

Re:「十五年戦争下の登山」

投稿者：越田和男 投稿日：2010年9月25日(土)15時59分24秒

> [No.1164\[元記事へ\]](#)

> > 新刊本の紹介です。日本山岳会の会報用に執筆した拙稿を短縮し、文末に甲南関係のことを追加したものです。

> >

> > 西本武志・著

> > 『十五年戦争下の登山—研究ノート』

> > 2010年8月 本の泉社

> > 定価 1800円

> >

> > 満州事変から太平洋戦争敗戦に至る十五年間（昭和六～二十年）の我が国登山界の動きを、著者の既発表の論考や講演録に加筆・訂正してまとめられたもの。戦時中に指導的立場にあった多くの著名登山家が、如何に時勢に迎合し、スポーツ登山を排する軍部の圧力に加担したか。また、そういった人たちが、戦後も登山界の指導者として如何に変わり身早くアルピニズムの復興をうたい上げたか。従来これらについて本著のようにまとめられたことはなかった。

> >

> > 著者は「登山史研究者はもちろんのこと、実践者としての登山者が十五年戦争下の登山の実相の解明を怠ってきたことは問題だ」と指摘し、この部分を欠落させた登山史を批判している。第一章「戦時下の登山の実相と敗戦後の登山」で略全容を述べ、第二章「かくてアルピニズムは蹂躪された」へと続き、第三章「戦火に散った岳人たち」には各種登山団体から収集した「戦没岳人・人名録」が付く。第五章「“山の発禁本”覚書」では名著・浦松佐美太郎の「たった一人の山」が発禁にいたる経緯などが述べられ興味深い。

> >

> > 「日本的登山道」なる言葉が現れたのは満州事変直後のこと。これは高みを目指すことを目的にする登山ではなく、要するに隊伍を組んで軍隊式に登る「行軍登山」を第一義にするもので、やがてはアルピニズムを「欧米の個人主義に毒されたもの」として排撃し、さらには「皇国史観にたった日本的登山道」の推進へと進む。やがて結成された「山岳戦技研究会」なる組織では、軍と山岳界の合同による実地訓練を雪の北アルプスで行い、機関銃を前穂高の頂上まで担ぎ上げたりしている。

> >

> > 軍部の動きに積極的に迎合して加担した人々、時流に抗せず止むを得ず協力した人々、そして抵抗勢力としてこの動きに批判を続けた人々など、本著では全て出典を明記の上、実名で登場する。平和な時代に山を楽しんでいる我々今の登山者が、想像を絶する戦時体制下に身を置いた時、果たして何処まで抵抗出来るだろうかと、重い問いかけを残している。

> >

> > 本文中には、旧制甲南高校山岳部の多数の部員が治安維持法違反で検挙された例の白亜城事件にも言及あり。戦没岳人・人名録では甲南の楠木義昭、湯川孝夫、加藤弘三、多田潤也の4名のお名前が記載されている（小生の手元資料では他に、藤沢浩、田口六郎、村上正一郎の三氏あり）。また巻末の「主要登山記録」では、甲南OBおよび現役山岳部員による登攀記録が23件記載されている。

> >

> > 残念ながら奥山先輩ら山岳部員が中心となって軍事教練の強化反対のビラを配った事件や、小川先輩らが昭和16年、学校側の強要する「剛健旅行班」に最後まで抵抗して、部室の扉に「KONAN ALPINE CLUB」と大書して、学校当局に黙認させた事実などについての言及はない。

Re: 劔を見に行きませんか？

投稿者：横山 咲子 投稿日：2010年9月23日(木)21時46分21秒

> [No.1153\[元記事へ\]](#)

塩崎将美さんへのお返事です。

塩崎様

> 掲示板拝見し、書き込みさせていただきました m(..)m(^-^)

> ケリン積みなおし、本当にありがとうございますっ。

父も、一番うれしいと思います。

8年前、立山に連れて行っていただき、初めて、山の景色と空気のすばらしさを味わいました m(..)m(^-^)。あれ以来、すっかり、とりこです (^ ^)。

ケルン・雷鳥荘・奥大日。。。山は、素人なもので、私だけでは、ケルン場所がわからなくなっています。また、次、機会があれば、おじさま方に、一緒にくっついて行ってもいいでしょうか(^-^)
今回は、仕事もあり、掲示版でのアルバム写真楽しみにお待ちしています m(..)m☆☆。

室堂の紅葉、きっと、綺麗ですね☆☆。

横山 咲子

くらの山荘

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010年9月18日(土)09時41分42秒

甲南ルームの表札がそのまま残っているとは懐かしい。此处は冬春の頃が一番印象に残ってます。又初めてアルプス登山はこの乗鞍岳；以下は当時の甲南中学の遠足登山記（越田コシノ牧野ドンノ小生達が12/3才の中学一年生で参加す。S26年（1951）7月24日：11：10PM大阪発25日：白骨温泉泊26日乗鞍肩の小屋泊（麓の鈴蘭小屋の辺りから肩の小屋まで歩いて登る）27日乗鞍岳登頂後上高地へ28日焼岳登頂あと松本経由浅間温泉へ、深夜松本発29日：11：20AM大阪駅帰着。
山下しんしは1987年恒例の1月2日のクラス会のあと5日後に亡くなった。
彼と千田周平と撮った写真が出てきた、何時もと変わらぬ表情で写ってる。合掌

乗鞍・位ヶ原山荘を訪ねる

投稿者：越田和男 投稿日：2010年9月17日(金)18時31分33秒

今月初旬、暑さを逃れ涼を求めて約20年ぶりに位ヶ原山荘に一泊してきた。小屋が出来てから70年、場所を今のところに移してから20数年経つ。移転直後に甲南山岳会の集会をやり、旧制・新制の老若相集い、飲めや歌えの大騒ぎを演じたのが懐かしい。香月会長、田口さん、佐野さん、福島村長もお元気だったのが皆なくなれ寂しいことだ。そういえば、同期の山下が卒業後初めて山岳会の集まりに出たのもその時だったが、その二ヵ月後に他界した。

しばらく閉鎖されていたのが数年前に営業再開して、今は関大WV部OBの六辻徹夫さんが通年営業として頑張っている。マイカー規制のため鈴蘭に車を置いてシャトルバスに乗り換える必要があり、足の便が悪いのが何と言っても難点だが、六辻さんに温かく迎えられ、70歳以上は1000円引きの6500円で2食付き。鹿肉の鍋などが出て満足。

涼しい夜は毛布と上布団をかぶって、酷暑を忘れて熟睡した。

旧館は以前どおりの間取り建具で、「甲南室」の表札も当時のままでした。六辻さんは甲南と位ヶ原山荘の関係など聞かされていないということだったので、香月さんが昔「時報」に書かれた昭和15年当時の600円の寄付のことや、移転時の40万円に寄付の経緯の載った「山嶽寮」のコピーを持参したら喜んでくれた。やはり寄付した石油ストーブは見当たらず、新しいのが置いてあった。

同行者は平井、大関、武田の諸兄。六辻さんの人柄も良く、みんな満足して、今度は季節を変えてまた来

ようにいことになった。



秋の集会・駒王

投稿者：井上 知三 投稿日：2010 年 9 月 12 日(日)10 時 46 分 24 秒

事務担当より参加者の状況をお知らせ致します。

小原 耕治・雨宮 宏光・鈴木 頼正・田辺 潤・伊丹 弘忠・越田 和男・大関 和夫・武田 雄三・安井 正・奥山 正紀・伊丹 徳行・石原 浩二・山本 真博・川村 静治 （敬称略）

9/12（日曜日）現在 14 名の方の御返事をいただいております。

参加者が少ないようです。皆様お誘い合わせの上 多数の参加をお待ちしております。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2010 年 9 月 6 日(月)06 時 05 分 46 秒

山本恵昭君から届いた写真をアルバムにＵＰしました。

Re: 山本登攀リーダーの活躍ぶり

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010 年 8 月 30 日(月)01 時 12 分 22 秒

> [No.1156\[元記事へ\]](#)

日本山岳会の会報、私も雨宮さんから送っていただいたので読みました。

去年のことが嘘のようです。

暑い日が続きますね。沢登にでも行きたいところです。

我が家はエアコン無し生活。

ゴーヤのグリーンカーテンや雑木林状のほったらかし庭で何とかこなしていますが、パソコンが暑さでダウン。

蓋を開けて、扇風機を掛けながら使っていますが、時々ピーと警告音を出して消えてしまいます。

福田さんからご依頼のカンリガルボ遠征についての山嶽寮の原稿も、なかなか進まなかったのですが、なんとか

目処が立ってきました。

8月末締め切りに間に合いそうです。

> 「山」8月号の図書紹介欄に、神戸大学の『ロブチン峰初登頂』が取り上げられており、次のような記載がありましたのでご紹介しておきます。

山本登攀リーダーの活躍ぶり

投稿者：越田和男 投稿日：2010年 8月27日(金)17時06分57秒

日本山岳会の会報「山」8月号の図書紹介欄に、神戸大学の『ロブチン峰初登頂』が取り上げられており、次のような記載がありましたのでご紹介しておきます。

「……頂上アタックの記録にしても2名のアタック隊員がそれぞれの立場で書いた記録と、頂上からの下山をサポートした山本登攀リーダーの記録を読むと、下山に困難を極めたアタック隊の様子が目で見えるように知ることができる。……。」(紹介執筆伊藤英弘氏)

Re: 劔を見に行きませんか？

投稿者：越田和男 投稿日：2010年 8月26日(木)23時19分18秒

> [No.1153\[元記事へ\]](#)

残念ながら今回一緒出来ませんが、横山ケルンの補強を是非お願いします。昨秋、石原君の案内で、平井と小生が旧室堂乗越しまでは行ったのですが、天気恵まれなかったことと、病み上がりの平井と腰痛持ちの小生では、とても作業出来る状況になく、気になってました。言い訳がましい勝手な要望ですが、今回の屈強なメンバーに期待。

サノゲンさんのこと

投稿者：平井吉夫 投稿日：2010年 8月24日(火)23時02分22秒

甲南山岳会のいつぞやの会合で、サノゲンさんがわざわざ私の前まで来てくださり、なんともいえない親しげな笑顔でじっと見つめてくださったことがあります。甲南高校出身で早稲田に行った者は少ないので、私が早稲田OBと(たぶん田口さんあたりから)聞いて、上席から私のところに来てくださったのでしょう。そのとき、私が早稲田では山岳部に入らなかった事情(当時の私には山登りよりもっと大切なことがあった、と自分では思っていた)をお話すると、サノゲンさんはにっこり笑って、それでいいんだという意味のことを言ってくれました。あのときのサノゲンさんの、いかにも親しげな、優しげな、そして(私の独りよがりかもしれませんが)嬉しげな笑顔が忘れられません。 平井吉夫

<http://www.arekara50.org/>

劔を見に行きませんか？

投稿者：塩崎将美 投稿日：2010年 8月24日(火)09時26分3秒

横山ケルンに行きます。

最近写された写真を見るとだいぶ崩れて小さくなってます。

積みなおしに行きたいと思います。

9月26日日曜日神戸出発で雷鳥荘で泊まり翌日ケルンへ、奥大日、大日と歩き大日山荘泊まり、3日目は大日平から称名へ下り、最後は氷見の民宿だ魚を食べる予定です。

基本的には下りのコースです。参加はカンさん、安さん、鈴木(同期の)、浪川、塩です。

9月末の室堂平や大日平は紅葉が綺麗だと思います。

のんびりしたい方はケルンを往復し弥陀ヶ原まで散策し翌日(八郎坂を下る? ケーブルで下る?)縦走隊と合流も可能です。

関東からは黒四ダム経由で雷鳥で合流。

日本海の魚で一杯やりに一緒に行きませんか?

塩崎

佐野さんのこと

投稿者：大森雅宏 投稿日：2010年8月23日(月)20時39分54秒

山嶽寮57号にヨーロッパスキー単独行の原稿をお寄せくださったのをきっかけに、折りにはがきやお便りをいただいたり、62号の早稲田のお話のときは私もお礼に甲東園まで伺ったり、暖かく接していただいたことを随分ありがたくみしています。お便りやはがきの本文はたいていワープロでしたが署名と宛名は手書きで、それが角の丸い大き目の丁寧で読みやすい筆跡で、乱雑な文字しか書けない私はこんな字が書けたらいいなと思っていました。

この1月、前田館から浪川さん達と山スキーに出かけたときに早稲田の小屋の写真を撮って、佐野さんにご披露しようと思っていたのですが何やかやで果たせず、先日残暑見舞いをお送りしたときにその写真を添えました。このたびはいつものようにすぐにお返事がありませんでしたので、ご高齢だし具合がよくないのかなと案じておりました。今にして思えばあの時ちょっと書いておけばよかったと思います。

皆さんがお書きのシベリアのこと、生還なさった方のうちどのくらいの方が佐野さんのように抑留生活をまっすぐ振り返ることが出来るのだろう、と思ったことがあります。極限の中で自分が生きるために心ならずも他の人に不利益をかぶせることがあったとしても誰もとがめることは出来ないのですが、そういう経験をしていた方はやはり当時のことを振り返りたくないのではないか、と思ったのです。

私が学生るとき、総会でお目にかかったお姿、ロックガーデンに80過ぎておいでの時、「足が弱くなってしまった」といいながらそれでもお元気に歩いておられたお姿、香月さんの会ですっきりしたスピーチをされたお姿、それぞれの佐野さんを思い出しながらご冥福をお祈りいたします。

(無題)

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010年8月23日(月)18時58分34秒

佐野 源一先輩のご冥福を祈ります。

強制連行されて十年。佐野先輩に戦争が終わったのは敗戦記念日の十年あとでした。

佐野先輩から 07 年 10 月に次のような書簡が山嶽寮・編集者・大森雅宏さんに郵送されています。山嶽寮（2007）の三十五ページに小川さんたちが北尾根から下ってきて、徳沢にいた

小屋主、中畠 政太郎に甘える遠慮からとあるが、中畠 政太郎は小屋主ではない。

当時の小屋主は三代目上條 喜藤次であるという内容です。

佐野先輩のご指摘は正しく稿訂正の手紙を出しました。

小川先輩にこのことを話したら「サノゲンはまだ頭がしっかりしとる」といわれ、小川さんから中畠はカモシカ猟で小屋に滞在していたと聞きました。

昭和二年穂高岳山荘が旦那衆の失火で焼失した時、案内人・中畠 政太郎は「ワシの責任」といいはり、彼の俠気に感じた信濃の山人、上條は飛騨の中畠が小屋に滞在することを大目に見ていたのです。

すみません。訂正をもう一つ。山嶽寮（2008）四十七ページに、

メスナーは裁判に敗訴し罰金五万マルクと記したのは誤り。訴訟費用五万マルクの支払いを命じられた——が正しい。

御礼

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 8 月 23 日(月)18 時 03 分 19 秒

伊藤文三大先輩へ、この掲示板を見ておられますか分かりませんが。

佐野ゲン大先輩の「ソ連抑留の思い出」の C O P Y を送って頂きまして有り難う御座いました。言い忘れてましたが、チョットの差で、コシにも頼んでました。ともあれ大切に

保管しておきます。お聞きました鹿島槍荒沢バットレス積雪期初登攀に関わるエピソード、凄く面白いです。山嶽寮に起稿方お願いできればと思いました。どうぞお元気でお過ごしください。廣瀬

佐野大先輩の訃報

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 8 月 23 日(月)17 時 45 分 47 秒

ごく最近佐野ゲンさんの「シベリア抑留の思い出」を越田コシに C O P Y して貰って

読み直しており、どうされてるかカナと気掛かりでした。小生の従兄が御影の小学校、

早稲田高等学院、早稲田大学山岳部の同期生でした。又""よくぞ生還された""と当該抑留体験のある上司も驚いてました。謹んで御冥福をお祈りいたします。合掌

訃報・佐野源一氏

投稿者：越田和男 投稿日：2010 年 8 月 23 日(月)17 時 15 分 44 秒

近着の日本山岳会の会報「山」（783 号）で、去る 5 月に亡くなられたとの記事があり。

甲南山岳会の最長老のお一人で、享年 9 4 歳。

昭和ひと桁時代に甲南から早稲田の山岳部に進まれた。満州で陸軍中尉で終戦を迎えられ、以後 1 1

年間の長きにわたったシベリア抑留のあと、昭和 3 1 年に復員された。甲南でも早稲田でも、既に山岳部の

O B 名簿では死亡者欄に載っていたところ、生きて還って来たとの連絡があり、翌 3 2 年の山岳会の総会に顔を出された時、大学一年生だった小生らは強く衝撃を受けたことを思い出します。

後に佐野ゲンさんが書かれた「シベリア抑留の思い出」のことを、ごく最近広瀬ポンと話す機会があり、再読し、改めて感銘を受けたばかりでした（山嶽寮・42号（1986年））。遥か彼方、今のウズベキスタン、パミール山麓にまで連れ行かれた壮絶な体験談です。ご冥福を祈って再読をおすすめします。合掌。

ゴールドコーストに釘付け

投稿者：福田信三 投稿日：2010年8月19日(木)15時29分57秒

ゴールドコーストに来てちょうど3週間になります。神戸の気温を見るたびに帰国拒否症候群になっています。山本さんのようなスタミナ旅行は過去のものとなりました。涼しい分、山嶽寮の編集がほぼ終わり10月には間に合いそうでほっとしています。ただ、残念ながら今年の65号は皆様方からの投稿が少なく、何だかんだで帳尻を合わせても去年より20ページほど少なくなりそうです。

600kmも延びるビーチとホエールウォッチングの写真を添付します。このビーチで毎日歩いています。この辺りはサーフィンの盛んな所で、早朝から夕方までサーファーがいます。ただ波の高さはさほど高くは無く初心者向きといったところです。

鯨は6月～8月頃まで毎日必ず見ることができます。この時期オーストラリア東岸を北行するためですが、かなりたくさん生息しているようです。オーストラリアは捕鯨反対国ですが、ガイドは以前よりかなり増えている、今は鯨を見ない日は無いと言っていました。



南東北の山旅

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年 8月 19日(木)00時 09分 25秒

カンさん達の真似では有りませんが、¥1000 高速を利用して、妻と着のみ着のまま山形・宮城の山旅に行ってきました。

8月6日夜神戸発、北陸道をひた走り居眠り寸前運転をしていると、妻から「忘れていると思うけど、結婚25周年やね」・・・ドキッ！そういえば8月10日は結婚記念日。もう25年になるのか。完璧に忘れていました。一気に目が覚めました。

そんなこんなで、7日8：40に飯豊山荘着。早々に準備をして9：20発、長い雪渓の残る七転び沢から梅花皮小屋へ15：35着。トレッキングシューズにアイゼンはフィットせず、騙し騙し急な雪渓を登り終える。小屋前に TENT を張って、¥800のビールで乾杯。水場も近く水量豊富で快適。小屋内は混雑模様。

8日朝、雨が降っているが、回復傾向と読み雨具を着て6：30出発。9：30御西小屋に着く頃には雨も上がり展望良好。飯豊山系最高峰の大日岳を往復。大日岳に着く頃10：55には晴れ。磐梯山や新潟平野、日本海も見える。12：15御西小屋に戻り、昼食。道中、場所によって花の種類を変え、お花畑が出迎えてくれる。飯豊山13：45、本山小屋14：10。500mほど下ったところがTENT場。少し下ると水場もある。夜、満天の星空と福島・米沢の夜景が美しい。

10日TENT場6：10発、再び飯豊山6：30。結婚25周年の朝は、まるで計画的に企画したように快晴の飯豊山山頂で2人で記念撮影となった。ここから、大グラ尾根を下るが、岩峰ありガレ場ありの難コース。おまけにボロのトレッキングシューズの底がはがれ、ひもで縛って補強。クタクタになって14：00飯豊山荘の駐車場へ戻る。

飯豊山荘の温泉で汗を流し、車で山形方面に向かう。ホームセンターでボンドとガムテープを買って靴を修理。スーパーで山形牛と山形ワインを買って、道の駅「ヤナ公園」で結婚記念日ディナー。

11日予定では休養をとってから、1泊で大朝日岳に向かうつもりだった。しかし、天気は崩れる傾向とのことで、急遽日帰りで大朝日岳を目指す。

朝日鉱泉6：20発。急登の中ツル尾根をひたすらのぼり大朝日岳11：35着。なぜか山頂は蝶や瓜葉虫など、虫だらけ。ひたすら下って朝日鉱泉に16：30着。朝日鉱泉で風呂に入る。何とか雨には会わずにすんだが、山形県南部は大雨で床下浸水とのこと。再び道の駅「ヤナ公園」泊。

12日今にも天気が崩れそうなので、観光に切り替える。最上川舟下りを楽しむが、清流のはずが上流の大雨でまっ茶色の濁流となり残念。しかも、途中から雨。その後、日本海まで走り、酒田港で海鮮丼の昼食で満腹。道の駅「みかわ」泊。台風の影響で風が強く雨も。

13日台風一過で晴れていれば鳥海山へとも思ったが、低い曇り空。諦めて信仰の山、羽黒山へ。早朝の静かな中、立派な杉並木と五重の塔が幻想的。次は、車を走らせて蔵王へお釜見物。宮城県側へ下り、遠刈田温泉に入った後、道の駅「おおさと」泊。雨。

14日、奥松島の大高森に登って松島鑑賞。石巻漁港、女川漁港、塩釜漁港と巡って、ウニ・ホヤ・サバなど賞味。仙台から東北道に乗り、北陸道経由で15日11：00神戸着。

チベット遠征で乾燥した茶色の景色ばかり見ていた反響か、ここしばらく緑豊かな山にばかり登っています。巨木の森と上部のお花畑。豊富な水場、沢にはイワナ。日本の山の豊かさに浸っています。

Re: 昭和15年夏の涸沢の写真(訂正)

投稿者：越田和男 投稿日：2010年 8月 10日(火)11時 27分 40秒

> [No.1143\[元記事へ\]](#)

涸沢の古い写真の年代に間違いがありましたので訂正します。

島、赤松両OBの参加されたこの涸沢合宿は昭和14年夏のもの（昭和15年は間違い）です。参加者の学年は小川（アヒル）さん、福井（グリーン）さんが高1です。尋常科の方々の学年はそのまま間違いのないようです。

赤松さん、アヒルさんとグリーンさんはこの合宿の前に、剣の池ノ谷に入り、小窓尾根の池ノ谷側バットレスの初登攀に成功されています。

以上、「時報」創立40周年記念号に小川さんが書かれた文章に依りました。塩崎さんご面倒ですが、写真のキャプションの訂正方おねがいします。

ちなみに、小川さんの上記文章には、ノンキさんや、グリーンさんの活躍ぶりや失敗談などが描写され、今読み返しても実に愉快。OB、現役が一体となって初登攀を含む大一級の登攀を続けていた戦前最後の自由な部活動や山行の様子がうかがえます。一読お勧め。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2010年8月9日(月)14時54分32秒

越田さんから届いた写真をアルバムにUPしました。

私が生まれる3年前の写真です。

昭和15年夏の涸沢の写真

投稿者：越田和男 投稿日：2010年8月6日(金)21時58分43秒

アルバム掲載の写真は福井グリーンさん所蔵のもので、当時のOBと高校生が尋常科（中学に相当）の山岳部員を引率して涸沢に合宿した時のものと思われます。故人の方が多いですが、今もお元気な赤松、福井、小川の諸先輩のお元気な雄姿が写っています。

グリーンさん有難うございました。酷暑の中お元気なご様子で何よりと存じます。89歳の大先輩がHPの掲示板を楽しんでいるのが嬉しきかぎりです。これでほぼ全員のお名前が確定しましたので、塩崎君にアルバム掲載方依頼しました。お名前はキャプションに入れてもらいます。

福田さん

投稿者：川野幸彦 投稿日：2010年8月6日(金)20時14分47秒

メール頂きありがとうございました。福田さんへ返信しましたがうまくいきませんでした。原稿と写真をどうすれば良いのかお知らせ下さい。

越田和男君へ連絡

投稿者：福井グリーン 投稿日：2010年8月6日(金)14時01分55秒

皆さんの活躍を「山岳会掲示板」で毎週拝見しています。貴方の投稿を見て、先月の初めの中欧旅行でお

返事するのを“スッカリ”忘れていたことを思い出して貴宅に電話をしました、お留守だったので、又忘れないうちにと、これを使わせてもらいました。

拡大して送って頂いた「涸沢の写真」の後列の4名は津田、北川、国府（三郎）の3君と人夫（何度も一緒したんだが名前が出てこない）です。皆さんの元気な活躍を羨ましく見守っている次第でした。

Re: 鵜木君の近況

投稿者：越田和男 投稿日：2010年8月4日(水)21時41分2秒

> [No.1139\[元記事へ\]](#)

kannrokuさんへのお返事です。

話好きの鵜木がしゃべらくなるのは如何にもさびしいです。7年前にニュージーランドに一緒に行った時は、ちよつと体力が落ちたかな、と思はれる場面があったものの、おしゃべりは達者でした。また、3年前に大関と大山の塩崎山荘にお邪魔した時には、空港まで出迎えに来てくれて、山荘でも結構しゃべってくれました。夜中に、ワシ帰る、といって突然帰ってしまったりしましたが。

病気の知識なく詮のないことながら、カンロクの励ましで回復してくれることを祈るばかりです。

鵜木君の近況

投稿者：kannroku 投稿日：2010年8月2日(月)21時55分17秒

7/30(土) 石原君に誘われて安井・鈴木功・森本の4人で鵜木君に会ってきました。

最初、変貌激しい？鈴木君はわからなかったが、直ぐに思い出して懐かしそうに昔に戻ったようだった。あまり変わっていないと言う人もいるが、私は少しずつ悪くなってるように思う。特に足が弱って来ているのと、こちらの話に乗ってこなくなった。もう元に戻らないと思と、寂しいが、話好きな鵜木君であってほしい。これからもできるだけ話し相手になってやろうと。

南会津の山

投稿者：越田和男 投稿日：2010年8月1日(日)18時29分55秒

皆さんも夏山を楽しんでおられる様子が嬉しく存じます。

先週の南会津2泊行では、先ず桧枝岐に泊まって、会津駒ヶ岳2132mを目指しました。去年の夏、燧ヶ岳に登った時に見た会津駒の容姿に惹かれてのことですが、標高差1000mを越えると小生には一寸きつかったです。頂上手前の湿原帯がすばらしく、頂上行きは簡単にギヴアップ。駒ノ小屋2055mで仲間が空身で頂上を往復するのを待ちました。小屋には電気も来ていないのに、缶ビールが冷えており（480円）、格別の美味さでした。

湯ノ花温泉でもう一泊した翌日は、これも頂上湿原のきれいな山ですが、田代山1926mに登りました。こちらも猿倉登山口からいきなり急登でしたが、標高差550mの登りは何とか着いて行けました。キンコウカが咲き乱れる雲上の頂上湿原は、忘れ難いものとなりました。

写真は、駒ノ小屋直下と、田代山のキンコウカです。



東北の山

投稿者 : kannroku 投稿日 : 2010 年 8 月 1 日(日)05 時 34 分 56 秒

今年も海の日を迎え、慣例の夏山登山。

山本様(ぼっぼの会)の周到的な計画のやり取りの結果、福島の新吾妻山・安達太良山に決まる。

7/17(土曜)夕方 5 時頃裏磐梯高原ホテルにて落ち合う。

東京組 山本・水渡・竹中 関西組 小西(関学)・柏・浪川・森本 計 7 名

7/18(日曜) 新吾妻山 7/19(月)安達太良山 東京組と別れ関西組は佐渡島に。

7/20(火) 佐渡島 金北山 1,127m 佐渡金山・島巡り

7/21(水) 佐渡島 シーカヤック・釣りで過ごす

7/22(木) 山形に移動。山寺(立石寺)拝観。 交流の館・八幡に泊

7/23(金) 福島 磐梯山

7/24(土) 帰阪

土、日の休日高速代 1,000 円を利用して往復約 2,600 kmの暇人のやる旅をしてきました。

元気が何よりも謳歌している少し馬鹿に見える、元気な老人達です。

面白い企画お持ちの方、誘ってください。おまちしております。(8/2 往復 2,600 kmに訂正)

(上から 磐梯山・山寺・佐渡の金北山・・奥に見える山))



南ア、聖岳と光岳

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年 7月 27日(火)23時 12分 19秒

南アルプス最南部、聖岳と光岳に行ってきました。豊かな森に包まれた良い山でした。

7月24日長野県側登山口の易老渡 9:00 に車を止めて、聖平小屋へ 14:00。水が使い放題なので、シャツとパンツを水洗いして干し、のんびりくつろぐ。

25日 4:30 発で聖岳を往復し、7:45 にテント場着。のんびりとテントを撤収し、8:30 発。遙か遠くに見える光岳目指して長い道程。いくつものピークを超えてひたすら歩く。光岳小屋への登りは、なかなか劇的で面白い。うっとうしい樹林帯から石だらけの歩きにくい道を登ると、急に視界が開けて静高平の水場に到着。救われるように喉を潤した後、もう少し登ると、緑の絨毯のような草原の向こうに光岳小屋が控えている。光岳小屋 16:00 着。

夕食後、暇なので小屋の書籍を見せてもらう。小屋番のおじさんお婆さんは気さくな人達で、小屋泊まりの女性も交えて四方山話に花が咲いた。この女性の息子さんは同志社大の山岳部員とのことでした。

26日 5:00 発で光岳と光石を往復。南面リンチョウ谷の大井川源流原生自然環境保全地域の眺めがすばらしい。イヌワシになって飛んで行きたい気分。ハイマツの南限自生地とのこと。6:45 テント場発、ガタつく膝を騙し騙し急下降を続けると、12:00 易老渡の駐車場の辿り着いた。

お盆休みには、妻と飯豊・朝日連峰に行こうと思っています。





ハイビジョン

投稿者：福田信三 投稿日：2010年7月27日(火)18時31分48秒

塩崎さん

すごいタイミングですね。ワスカランの映像が出るなんて。

残念ながら、我が家ではハイビジョンどころか、BSも観られません。

やっぱりテレビも観た方がいいのですかね？

一方的な地デジ化反対の福田より

Re: DigiBook よりアンデス ブランか山群

投稿者：塩崎将美 投稿日：2010年7月27日(火)08時56分11秒

> [No.1133\[元記事へ\]](#)

今日午後8時からNHKハイビジョンで

“世界の名峰グレートサミツ「ワスカラン～熱帯の最高峰」が放映されます。

明日は「マッキンリー」です。

昨日の「モンブラン」も面白かったです。

DigiBook よりアンデス ブランか山群

投稿者：福田信三 投稿日：2010年7月26日(月)21時55分6秒

最近 DIGIBOOK たるもの横行。いろんなを送ってきますが今回は紹介に値するものでしょう

青空に突き刺すような尖峰、すごいですね

< <http://www.digibook.net/?entrycode=loginMailMag&email=mountrokko%40gmail.com&c=0b9d12e083&view=detail¶m=5794c51f81589a85ed90ee3145a9a1f0&mag=20100726> >

ご覧になると判りますが、実にネパールのヒマラヤ山群に非常に似ていますね。5,000 6,000 級の高山はもちろん、その山が国を分け、分けられた国をつなぐ街道、街道筋の原住民の部落と生活。少し異なるのは荷物運びのヤクの代わりに馬でしょう。南米にはヤクはいないのでしょうか？

実況中継のアンナプルナ

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010 年 7 月 20 日(火)00 時 12 分 9 秒

010 年 7 月 17 日放映・BS7 の『地球の頂へ』をご覧になりましたか。

栗城 史多（くりき のぶかず）のアンナプルナ・ネット中継登山の番組で放映 2 時間。防寒服・帽子に貼り付けられたスポンサーのロゴ・マーク。衛星通信設備を備えた大型のベーステント。

栗城 史多は体につけたカメラで自らの登山状況を撮影する。行動中、頻繁な B C との通信のやり取り、茶の間でこの中継を見ている若者が栗城に送る激励のメール、これに応じて高所で咳をこらえて、しんどい最中にしゃべらねばならぬ栗城。

体調不良で登頂をあきらめた C 4（7.200m）のテントの中で「自分の登山はただ登るだけでは済まされないものがあって」

「本当に申し訳ないと涙声」――の、つぶやきを B C に送信。

そのメッセージが茶の間の画面に「お詫び」となって現れる。

中継登山では、失敗したら支援者に謝らねばならないらしい。このへんわからない。

登山者 ツイッター サポーターのみんながネットで騒ぐイベント登山。

サポータ（傍目・はため）の圧力に負けて命を落とさぬよう。

ユリアン・アルプス短訪

投稿者：越田和男 投稿日：2010 年 7 月 19 日(月)22 時 05 分 34 秒

スロヴェニア北部、ヨーロッパ・アルプス東南端の山々を垣間見て来ました。最高峰トリグラウ（三つ頭、2864m。国の山として国旗のデザインにも取り入れられている）北麓のリゾート、クランスカ・ゴラと云うところに 3 連泊するというツアーに参加して、例によって麓を歩いての山見遊山です。

ドロミテと似通った岩峰群の迫力と、第一次大戦中のロシア人捕虜の作った山岳道や、第二次大戦中に戦死したパルチザン山岳兵のレリーフ（巨大ハーケンとカラビナからなる）、古くから当地の山屋の溜まり場となっていた居酒屋などが印象に残りました。山嶽寮に書きます。

ツアー終了後、オーストリアで一週間遊び、田辺ガチャさんの青春の遊学地の古都グラーツにも立ち寄りしました。今や世界文化遺産となっている旧市街など、すばらしい街でした。50 年近く前に日本から当地に来られて、どんな生活をされたのだろうかとの思いに馳せました。

Re: 関西の大学山岳部員情報

投稿者：井上雅瑛 投稿日：2010 年 7 月 12 日(月)01 時 13 分 42 秒

> [No.1122\[元記事へ\]](#)

はじめまして

関西学院大学体育会山岳部の井上雅瑛と申します。

甲南大学の山岳部とは大学が近い事もあり

以前から親しくして頂いていたと聞いています。

先日甲南 OB と関学 OB でネパールの未踏峰に登られたとの事。

今年は甲南大学にも新入部員が加入されたと他大学の友人より聞きました。
また以前のように一緒に山に行けたらなと思います。
ではでは。

アメリカ旅行

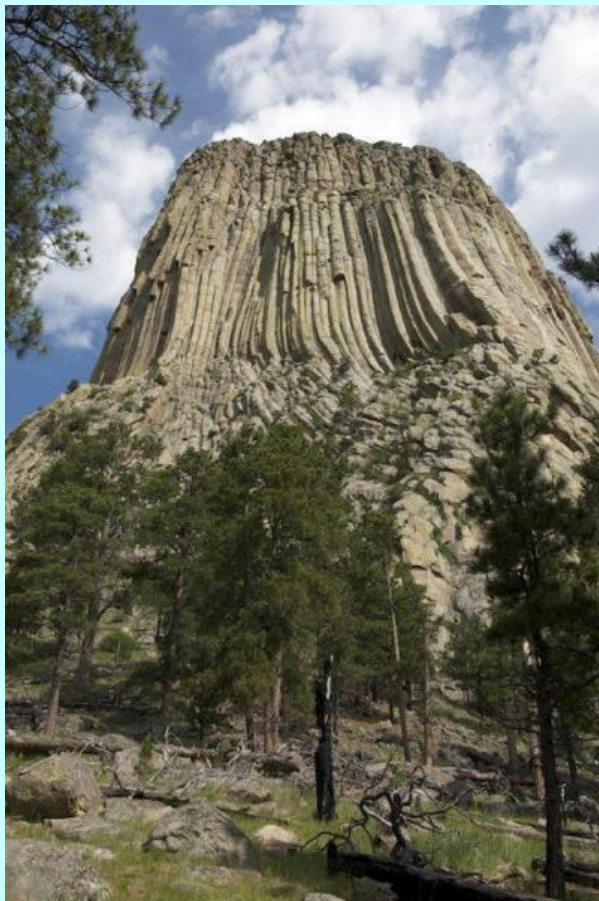
投稿者：米山悦朗 投稿日：2010年 7月 10日(土)09時 39分 47秒

ソルトレークシティからイエローストーンを回りサウスダコタのラピッドシティまで3,000キロドライブして来ました。

写真を貼付します。

最後のデビルタワーは岩登りのメッカだそうです。





中井久夫の文章

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010年7月3日(土)11時32分8秒

此処に記します題名は去る5月の日経（夕刊）の「プロムナード」と言う欄に出たのを転記したもので、敬称略です。この欄からほんの一部を引きます。（筆者は小説家 久保和志）

””中井久夫は精神科医だから科学側の人間だ。科学者と言うのは必ず人間を高めから見下ろすような事を言う。氏はそのような高めから人を見下ろす感じが全く無い。氏の本を何から読めばいいか？私にはどの本も素晴らしいとしか言えない。””

小生も何冊か読んでます。中には登山に触れられたものもあります。専門書は一冊だけ買いました。中学／高校同期のS先生も著者の一人として中井先輩と共に名を連ねていましたので。これは難解もので手に負えませんが。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2010年6月30日(水)10時51分8秒

福田さんよりヨセミテの写真が届きました。
アルバムにUPしました。

福田様

旅に出ており写真の掲載が遅れ申し訳ありませんでした。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2010年6月28日(月)00時55分29秒

中井さんの本、商売柄、絶対に買って読みます。

この間、60年安保闘争50周年に関して三度ほどテレビに顔を出し、保守的地域で人気の合気道指導者にして老人登山リーダー・平井先生の正体がばれてしまいました。50年前の「政治的犯行」への町内市民の評価が意外に好意的なことにびっくりしています。

<http://www.arekara50.org/>

中井久夫氏の新著

投稿者：越田和男 投稿日：2010年6月27日(日)18時44分21秒

中井久夫先輩（昭和27年新高）の新著「私の日本語雑記」（岩波書店・2100円）の書評が今朝の朝日新聞の読書欄に出ていました。先日新聞広告で見て、買おうかどうか迷っていたところでした。

中井氏にはかつて、高校時代の夏の涸澤合宿中、仲間とドイツ語で喧嘩したとの伝説もありますが、精神科医・斎藤環氏による優れた本書評にもいくつかの語学にまつわる伝説が紹介されています。やっぱり買って読みなさい、と背中を押されたような気分です。この書評だけでも十分読む価値あり、ぜひどうぞ。

Re: 関西の大学山岳部員情報

投稿者：越田和男 投稿日：2010年6月27日(日)10時24分57秒

> [No.1122\[元記事へ\]](#)

谷君の大学山岳部情報大変興味深く拝見しました。

各大学山岳部も一時の低迷期を脱しつつあるようですね。少なくとも廃部にまで追い込まれなかったところでは、何とか上向きになったということでしょうか。

雑誌や新聞紙上では、若い女性の登山熱がブーム化しているとか、喜ばしきかぎり。
甲南大学山岳部の復興へのご尽力、たのしく存じます。どうかよろしく。

関西の大学山岳部員情報

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2010年6月26日(土)23時04分57秒

ご無沙汰しております。

いよいよ本格的な梅雨時期となり、ジメジメとした日が続いてますが、皆様お元気でおすごしですか。福田さんはヨセミテのようですね。いいですねー。

さて、私も山岳部OBとなり、他大学の山岳部員数や活動内容、横のつながりに関して、現役のころに比べると情報殆ど入らずの状態でした。

ところが、先日学生時代の知人より、確かな数字ではないですが今の山岳部員数はこのようになるようです。

神大 9 人

関大 3 人

関学 7 人

同志社 21 人

京都府大 10 人

京都府立医大 2 人

立命館 6 人

※尚、アクティブメンバーとそうでないメンバー トータルでの人数です。

圧倒的に同志社が多いようですね。

ちなみに同大学の今年 夏の遠征計画 H P です。登山隊 資料提供：大阪山の会

<http://dacwesternnepalexp2010.web.fc2.com/>

隊長は 2007 年クビ・カンリ遠征の隊員（当時 1 回生）現在 4 回生 K 君です。

また、京都府立大の 10 名にも驚いております。

今、甲南大学山岳部においても、いい流れが出来つつあります。

甲南や他大学の先輩諸氏の皆さまには あたたく見守っていただけますよう 宜しくお願いします。

ヨセミテ国立公園

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 6 月 26 日(土)15 時 18 分 13 秒

ヨセミテ国立公園にいます。

何度来ても岸壁、溪谷、森林等々のスケールの大きさには驚きです。

2 年前には秋でしたので滝に水はなし、今回は噴出すほどの水。

無数のトレイルは整備され、私のような横着もんでも、

毎日 2, 3 時間の歩きを楽しんでいます。

アルバムもご覧ください。



パキスタンの土砂崩れ

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 6 月 24 日(木)09 時 51 分 36 秒

今年の 1 月 パキスタン北部 フンザとパサーの間くらいで巨大な土砂崩れが発生し、あのフンザ川の激流がたちまち巨大な湖を造りつつあります。5 月現在の航空写真では奥多摩湖くらいに膨れ上がっていました。その後情報がはいりませんが、どなたか知りませんか。

出合い、往年の名クライマー

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 6 月 22 日(火)16 時 32 分 45 秒

川野／山本（恵）兄の今般の書き込みを大変興味深く見ました。一本松さんのお名前は重廣恒夫氏から聞いたような気がします。一本松氏も相当なクライマーなのでしょう。重廣氏が二度にわたるエベレストの難壁（北／南壁）ですざましい登攀をやった当時の氏の仲間；森田勝、長谷川恒男、加藤保男は既に故人。j a c 会報に載っていた「日本のヒマラヤ登山」と言う文面に"" 1 9 8 0 年代はアルピニズムの主流を走る英雄達のあまりにも激しい消耗戦の時代でもあった。""とあります。残念乍らと言うか、全く想像のつかない世界ですが。

Re: ゴールデンウィークの剣 より

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010 年 6 月 20 日(日)22 時 52 分 49 秒

> [No.1116\[元記事へ\]](#)

先日、大森さんと神戸の登山研修所でレスキュー講習会を受けました。
世の中広いようで狭いもので、その時の講師が馬場島で出会った 4 人のうちの年配の御二人、一本松さんと西村さんでした。県岳連の遭難対策委員会と指導委員会のお役目をされているようです。

日本国に登ってきました

投稿者：越田和男 投稿日：2010 年 6 月 20 日(日)18 時 11 分 28 秒

「日本国」これ山の名前です。新潟・山形県境日本海寄りに聳える標高 5 5 5 m の山で、ちゃんと国土地理院の地形図にも載っています。山名の由来は諸説ありますが、結構古くからのもので、日本海からの航海の目印でもあったらしい。新潟県側の登山口である旧出羽街道沿いの山麓の集落小俣宿は、今は小学校の分校も閉校となった寂れようだが、戊辰戦争で焼き払われた後も見事に復興して栄えたという風格にロマンを感じた。

そんな山に先週末の梅雨入り直前のタイミングを狙って、東京から 2 泊 3 日の旅程で、いつもの J A C の仲間と 5 人で出かけた。小俣登山口から登り 2 時間弱で、登路には蛇逃（じゃのげ）峠だとか、鷹待場とかの嬉しい地名が残る。眺めもよし、残雪豊かな朝日・飯豊連峰も印象的でした。日曜日だったので、地元の人もちらほら。この季節にまだ蕨がとれて、アツと言う間に両手いっぱい収穫を見せてくれた。東京や横浜からわざわざ来たという珍しがられた。

宿は勿論温泉付き。J R 羽越本線の勝木（がつぎ）駅近くにある、廃校となった中学の校舎を改造した

もので、素泊まり3000円で、2000円出せば夕食も出て、今やシーズン真っ最中の岩ガキつきの豪華版でした。酒は地域限定の「日本国」。

帰りがけの駄賃で登った新保（しんぼ）岳 852mも良かった。この山は新潟県の最北部日本海沿いにある葡萄山脈の最高峰。林道が高くまで通じており、登りは1.5時間と楽勝。見事なブナ林を経て、天辺から日本海側を眺めると、近くに粟島、遠方に佐渡も望めなかなかのもの。

帰路は朝日村の「道の駅」にある広々とした露天風呂で大満足したあと、関越道の長いトンネルを抜けると、関東平野は既に梅雨入りしていました。関西の方には馴染みのない所ばかりの話でどうも済みません。

ゴールデンウィークの剣 より

投稿者：川野幸彦 投稿日：2010年6月19日(土)16時34分41秒

ご無沙汰しております。皆さんお元気でお過ごしですか？

廣瀬さんの投稿関連です。

山本の報告にもあるように、馬場島の駐車場で一本松さんにお会いしました。女性一人を含む4人パーティー（クルマは白の神戸ナンバーのランクル）で、二人ずつに分かれてR4を登るとおっしゃっていました。「凄い！」と感心しました。一本松さんは年齢が60歳位で、風貌と雰囲気は甲南ACの松本さん（マantaさん：失礼！）のようでした。大森さんの話によると、元々“壁系”が得意の方で奥鐘や屏風の6級のルートを精力的に登られていたそうです。詳しいことは大森さんがご存知です。

今でも、5月の剣岳には“往年の名クライマー”がお集まりなのですね。重廣さん・一本松さん……。

やっと梅雨入りですね。ジメジメした蒸し風呂状態ですが、風呂上りに扇風機をかけながらの発泡酒（ビールではありません！）は最高です。

訂正

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010年6月17日(木)22時40分15秒

すみません。

ネパール当局は健康上の理由から17歳未満の登頂を禁止しました。

は間違い18歳以下の登頂禁止（18歳以下は、18歳も含む）

最年少13歳のエベレスト

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010年6月17日(木)18時34分41秒

2010年5月22日。米国人・ジョーダン・ロメロ君（13歳）は、パパとシェルパで結成された「チーム・ジョーダン」隊の1人としてチベット側から登頂しました。

2001年ネパール人シェルパ16歳（男性）が登頂して以後、ネパール当局は健康上の理由から17歳未満の登頂を禁止しました。

2003年ネパール人・シェルパ、ミンキパ15歳（女性）はチベット側からチョモランマに登頂している。つまりチベット側からの年齢制限はありません。ミンキパはまさか13歳が現れるとは思ってなかったでしょう。

『13 歳のエベレスト』この種の本は売れそうで父と息子は、ぼちぼち登頂記を書いているかもしれません。
ジョン・クラカワーあたりが飛びつきそうな「ネタ」でもあります。
いつか『親・子・孫・三代のエベレスト』などとふざけたことを考えています。
ひょっとして本当になったとき、次のパフォーマンスはなんでしょうか。

Re: ゴールデンウィークの剣（J A C 支部報より）

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010 年 6 月 15 日(火)20 時 27 分 17 秒

> [No.1112\[元記事へ\]](#)

この神戸の 4 人パーティは、一本松さん達のことだと思います。
大森さんが良くご存知の方々です。
我々も馬場島の駐車場で出会い、R4 へ行かれることを聞きました。

ゴールデンウィークの剣（J A C 支部報より）

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 6 月 14 日(月)09 時 52 分 33 秒

5 月 1 日早朝、登山者で賑わう馬場島荘に到着。ブナクラ乗越に向かう。途中
白萩川林道の分岐で休んでいた 4 人のグループから声をかけられ驚きました。
そのうち二人は今から 29 年前、神戸に就職した頃に六甲山堡壘岩でザイルを
組んでいた人達だったからです。こんな処で再会するとは！彼らから剣尾根 R 4 を
登ると聞き、いまだ厳しい登山の継続をしていることに感激しました。

付記：重廣恒夫氏のこの文面を見て、我が K A C の中年の星：大森／川野／山本（恵）兄の丁度こ
の時期の小窓尾根登攀や、昔の堡壘岩でのさまざまな出来事を想起しました。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2010 年 6 月 12 日(土)10 時 16 分 27 秒

恒例の中尾平集会の写真が越田さんから届きました。
アルバムに UP しました。

のんびりハイキング；清水山 東大谷山 霊山など

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 6 月 10 日(木)10 時 04 分 6 秒

歴史と文化を辿り乍らの J A C の東山三十六峰を 6 回に分けての歩き会に参加、昨日は其の二回目。
予期せぬ好天、山歩きとしては、多少物足りなかったが、京都がいにしへの都だった事を再認識するウォーキ
ングは、これまた良し。（東京は東のみやこと言われていたとか） M A I L して貰った軌跡図／断面図／
鳥瞰図を見たり、京都新聞社編集の「東山 36 峰を歩く」をひらい読みしてます。今回は一応 11-12
峰をめぐる。この峰のピークハントはなかなか厄介、頂上がどこか分かりにくい。最終回は 12 月
の比叡山を中心とした縦走のようで、これは登山に成りそうです。

新聞によると：昨年の山の遭難事故は統計を取り始めた 1961 年以降 最悪、死者行方不明者 3
17 人、原因の 43.5 パーセントが路迷いで、これが最も多いと、山歩きはどんな低山でも気を緩めては

成らぬ。頂門の一針に致したし。

スズコキャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年 6月 6日(日)20時 25分 40秒

スズコキャンプご参加の皆様、お疲れ様でした。

スズコを採りながら登っていくと、神戸大ヒュッテが開いていて中にヒュッテ担当理事の土山さんと矢崎くん、大学職員の方がおられました。休憩がてらコーヒーをご馳走になりました。

天滝東屋でのメニューは、クレソンのお浸し、ウドとスズコの天婦羅、スズコの水煮のマヨネーズ or 味噌付け、焼きスズコ、豚と野菜の鍋、色々持ち寄っていただいたキムチや鮎寿司など、盛り沢山。皆さんの笑顔と四方山話を肴に、美味しいお酒で楽しくほろ酔いさせていただきました。

今年は天候不順のせいか、時期が少し遅いせいか、硬くて虫入りの物も多かったように思います。お土産の持ち帰られたものはどうだったでしょうか。

次はそろそろ沢登りでしょうか。

スズコキャンプのお礼

投稿者：井上 知三 投稿日：2010年 6月 6日(日)18時 05分 8秒

山本 恵昭さんのお誘いのキャンプに 5日・6日と参加しました。

5日早朝に森本さん柏さん浪川さんと私の4人が芦屋に集合。一路集合場所の氷ノ山 山麓の大段ヶ平に10時到着。前日からの大森さん山本さんと友人の検見川さんの7人で氷ノ山 山頂に登りながら登山道脇に入り「ブッシュ」をしながら根曲がり「夕ノ」をとりました。初めての参加だったので少し苦労しました。

下山後は兵庫県で落差（98m）一番の天瀧にも行き充実した日を過ごしました。夜は天の滝の東屋にて昼に採ったスズコを食材に恵昭さんの手料理と美酒で小宴会楽しい一夜でした。

参加の皆様には本当に何から何まで色々お世話になりありがとうございました。

最後に今夜の我が家の夕食の一品にスズコの天ぷら昨日の様においしいかな？

ディンジュンリB c & ゴーキョピーク

投稿者：関学山岳会（管理者） 投稿日：2010年 6月 5日(土)18時 01分 36秒

関学山岳会のホームページを管理している鮎川と申します。

貴会の塩崎様にはホームページ管理に付いて大変お世話になりました。

今春の「ディンジュンリ&ゴーキョピーク・トレッキング」報告が、ウェック・トレック社の中島より報告があり、私共のホームページに掲載致しました。

ご査収賜りたく。

60年安保闘争写真展

投稿者：平井吉夫 投稿日：2010年 6月 4日(金)23時 36分 55秒

安保闘争写真展のことをこの掲示板に投稿するのをためらっていましたが、コッシンが書いてくれたので、これに関するウェブサイトをお知らせします。

<http://www.arekara50.org/>

<http://www.arekara50.org/>

平井吉夫岳兄と安保闘争

投稿者：越田和男 投稿日：2010年6月4日(金)21時27分45秒

センキチこと平井吉夫が最近超多忙だという。ええ年をして何を今さらと思ったが、聞いてみると、先日の毎日新聞（5月6日夕刊の文化面）にも紹介されていたとおり、「あれから50年－60年安保闘争写真展」に奥さん（佐々木和子さん）共々その準備に追われているとのこと。

6月8日～18日（13日は休み）に東京・新宿の早大大隈記念タワー10階125記念館で開催される。問い合わせは

Tel 03-5659-3063 メール info@arekara50.org へ

「山岳部に入ると赤になる」という旧制高校以来の伝統を受け継いだ最後のひとりが我が岳友センキチ。彼とノンポリ硬派の私が並んで歩くと「赤と黒が来た」といってからかわれたもの。山から遠ざかり上京した彼は、後に全学連の中樞を担った社会主義学生同盟（社学同）の副委員長をつとめた。

今回の企画のきっかけは、新聞記事によれば次の通り。奥さんが、かつての同志で今は認知症を患い普通の会話も成り立たなくなっていた友人に、早大正門を出るデモ隊の様子を撮影した当時の写真を見せたところ、不意にしっかりした口調になり涙を流して思い出を滔々と語った。その変化に驚いた施設の職員達の反応に接したのが始まりだったという。

大和葛城山

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010年6月4日(金)16時32分29秒

予てから行ってみたかったので、昨日地元の人の御案内をえて、登ってきました。つつじが綺麗な筈が、少しの遅れで--小生歯痛でドンピシャの花の時期を逃すも、少し冷気を感じる、杉の樹林路歩きも良し、鶯／ほととぎす／カッコウ鳥のさえずりも賑やかで楽しめました。又、途中で清流を掬って飲みました。良くこの山を知っている人が""飲んででもOK""と申すので、心配なく、久しぶりに山での水をがぶ飲み。山本恵昭KAC会員が山の清流で山草を見つけ""美味しいですよ""との事で、安心して食べた事を、思い出しました。余談：今日、テニスコートで山登りの話が出た時、山靴の鉤の「ムガー」成る言葉が出てきて、「トリコニ-」と共に響きがとても懐かしかった。小生以外誰も理解できず。

Re: スズコキャンプのお誘い

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年6月4日(金)00時21分56秒

> [No.1102\[元記事へ\]](#)

来週末のスズコ採り、井上さんと私の友人を加えて7名となりました。

他に急にご都合がつかれた方は、5日土曜日10時頃に大段ヶ平におこしください。

スズコキャンプのお誘い

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010 年 5 月 28 日(金)21 時 20 分 19 秒

来週末、6 月 5 日 6 日に氷ノ山にスズコ：根曲がり竹タケノコを採りに行きませんか。

5 日土曜日 10 時頃に大段ヶ平に集合し、氷ノ山に登りながらスズコ採り。

その夜はどこかで 1 泊小宴会。日曜日は適当に解散。

今のところ参加予定は、森本さん、柏さん、浪川さん、大森さん、私の 5 人です。

私は金曜夜に出発し現地で朝を迎えようと思います。

参加希望の方は掲示板等でご連絡ください。

六甲山越え

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 5 月 28 日(金)11 時 04 分 48 秒

昨日は六甲山越えで有馬温泉へ

中高の同期会でした。久しぶりで歩けるかなと思いましたが、なんとか。

しかし、頂上付近は風、ガスと寒さで冬のようで、せっかくのビールが進みません。

それでも、山つつじとぶなの新緑は見事でした。そして、最近の多雨で有馬の鼓の滝の勢いが良く、ドードーと。鼓の音には聞こえませんでした。





松下氏の原稿

投稿者：福田信三

投稿日：2010年 5月 24日(月)14時 44分 46秒

南里さん、

いよいよ本物の餅が届いた感です。

そのまま上記の小生メールアドレス宛に転送していただければ幸いです。

そして、山嶽寮スタイルに編集したものを貴方に返信し、松下氏の確認をとっていただきます。

でわ、お待ちいたします。ありがとうございました。

福田さんへ

投稿者：南里章二 投稿日：2010年5月24日(月)09時38分9秒

いつもお世話になっています。アメリカ在住の松下弘幸氏より、山嶽寮に載せるために以前から依頼していました原稿がメールで昨日私宛に送られてきました。どう転送すればよいかご指示いただけませんか。

原稿の写真

投稿者：福田信三 投稿日：2010年5月23日(日)21時55分56秒

川野さん

表記の件、了解しました。

アドバイス通り原稿に添付します。

扇の山野遊び

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年5月23日(日)10時03分32秒

土曜日、急に予定が空いたので風邪気味の大森さんに付き合っていていただいて、扇の山周辺へ。

ヘルメットをかぶりハーネスをつけて、ロープも使って沢遊び。

自宅で飼っている生ごみ処理用ミズに登場してもらって、糸を垂れるとそれなりに。ワラビなどもお土産に、ミソサザイやアカショウビンのさえずりを聞きながら、まぶしい新緑の中、野遊びをしました。



高尾山登山

投稿者：飯田 進 投稿日：2010年5月23日(日)08時07分22秒

川野君や大森君がハードな登山をやっているの、こちらはちとソフトな登山を、と思って高尾山に行ってみることにしました。高尾山と言えば 八王子市にある高尾山 599mがあるが、今回目指したのは、我が家から歩いて行けるところにある高尾山。町田市にある唯一一等三角点のある山である。国道246号線を渡って畑の点在するなかを歩いて行くと、

旅装深草がある、一度は訪れてみたいが連れがいないので実現していない。その深草の手前を東に曲がって

少しのぼると鳥居があって、その奥に古びた祠がある。江戸時代に建ったものらしい。飯縄神社 高尾様 100余メートルと書いてあって、その前に一等三角点があった。

東には大樹がかぶさっていて景色なく、北には東京工業大学の学舎が聳え立っていた。

南から西には富士さんが、その手前には丹沢山塊、そして本物の高尾山、その向こうに秩父の連山が一望のもとに見渡せ、東側の古木が邪魔をしなれば360度の一大パノラマが展開していることだろうと思った。一等三角点があるのうなずけるところ。

これで甲州高尾山 町田の高尾山 辞書にも載っている高尾山と三つの高尾山に登った。

行って帰って10720歩、ああ疲れた年取った。

小窓尾根写真

投稿者：川野幸彦 投稿日：2010年5月22日(土)19時16分21秒

・福田さん

ご無沙汰しております。メールの返事が遅れて申し訳ありません。

小窓尾根（山岳寮）投稿の写真ですが、当HPアルバムの7枚目（ナイフリッジに行く大森さん・ビレーは山本）11枚目（剣岳頂上の3人の集合写真）12枚目（小窓尾根をバックに・川野個人写真）をお願いします。

いつもお気遣い頂きありがとうございます。

・大森さん

6月26日の件よろしくお願いします。伝説の奇人にお会いできるのを楽しみにしています。

・山本少年

カンリガルポ報告書届きました。ありがとうございました。

位ヶ原山荘写真提供のお礼

投稿者：大阪ぽっぽ会 山本 投稿日：2010年5月18日(火)18時48分20秒

いつもお世話になっています。位ヶ原山荘支配人の六辻さんから、創建時の山荘写真を甲南の方から提供していただいたお礼のメールを頂きました。お忙しい中、ご協力戴き有難うございます。取り急ぎお知らせまで。

カンリガルポ報告書

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年5月15日(土)00時01分24秒

昨秋のカンリガルポ山群ロブチン峰初登頂報告書が完成しました。

皆様の多大なご支援に感謝申し上げます。

遠征隊にご寄付いただいた方には神戸大から、私個人にご支援いただいた方には私から、近日中に送らせていただきますので、御目通しいただけたら幸いです。

ヒマラヤトレッキング原稿大歓迎

投稿者：福田信三 投稿日：2010年5月14日(金)22時31分28秒

柏、浪川さんご一行、
良い山行をされましたね。私も当時を思い出します。
その方、76歳でとは驚き。普段からの訓練をされていたのでしょう。
柏さん、原稿お待ちいたします。メールアドレスを記しました。

ヒマラヤトレッキング

投稿者：浪川 純吉 投稿日：2010年5月14日(金)00時11分16秒

昨日トレッキングから無事戻りました、メンバーは関学（田中様・小西様）柏さん・浪川の4人とウエック・トレック中島君（関学）総勢5人。

4/22 カトマンズ 23 ルクラ～パクディン 2610m 24 パクディン～ナムチェ 3440m 25 ナムチェ～クムジ
ユン～ナムチェ高度順化 26 エベレスト街道と別れボータコシ川沿いにナムチェ～ターメ 3820m 27 高度
順化為ターメ滞在ターメゴンパ訪問 28 ターメ～マルルン 4200m

29 マルルン～チューレ 4490mテント泊途中で昨年関学初登頂したダイジュンリ 6198mが見える

30 チューレ～メルング氷河の入口 4780m～チューレ 4490mテント泊 5/1 中島君と私はナンパラ峠
（中ネ国境）見える処まで行く 4880m 田中さん小西さん柏さんの三人はヤク峰 4850m初登頂チュー
レテント泊 4490m 5/2 昨夜から積雪 5cmチューレ～アリヤ 4360m～レンジョパス手前レモラテント泊
4950m /3 レモラ～レンジョパス（5340m）～ゴーキョ 4750m

/4 ゴーキョ～ゴーキョピーク（5360m）頂上に着く頃から晴れエベレスト・ブモリ・ローツエ・ヌブチェ・マカル
ー・チョーユー・ギャチュンカン等々360°パノラマが楽しめた～ゴーキョ 4750m泊 5 ゴーキョ～ドーレ 4050
mロッジの目の前にタムセルク・カンテが見える

6 ドーレ～ナムチェ 3440m 7 ナムチェ～パクディン 2610m此处まで来ると空気が濃く感じられる 8 パク
ディン～ルクラ 2840m 9 ルクラ～カトマンズ

今回のトレッキングは軽い気持ちで参加しましたが、16日間歩きばなしに高山病・下痢・風邪（喉）等の
悪条件の中平均 70 才皆様の頑張りに驚かされました、特に田中様（76 才）には驚嘆いたしました。な
んとか全員完走できたのもウエック・トレック中島君の気遣いと感謝してます、彼は今時珍しい好青年です今
後素晴らしいガイドになると確信してます。

詳しい報告は柏さんが今年の山岳寮に掲載されますのでご期待ください。

(無題)

投稿者：管理人 投稿日：2010年5月12日(水)05時07分26秒

川野君から小窓尾根の写真が届きました。
アルバムにUPしました。

Re: 懐かしの小窓尾根

投稿者：大森雅宏 投稿日：2010年5月11日(火)21時08分34秒

> [No.1084\[元記事へ\]](#)

小窓尾根から横山さんのこと、書き込みが続いています。蛇足ですがちょっと。

以前会報の担当をしていましたので、その頃の資料がありました。

1 枚目の写真は横山さんと香月さん。

私のイメージ通りの横山さん。髪の毛短め、気も短かめ。(実はそうではなかったでしょうが・・・)

私のイメージ通りの香月さん。温和な感じ。(実はそうばかりではなかったというご意見を某上級生から聞いたことがあります・・・)

香月さんと咲子さんにも不思議な接点が。

「咲子さんのお勤めが西宮の病院、お仕事はリハビリのお手伝い。香月さんがでリハビリをなさり、その係りがなんと咲子さんだったことを知りました。咲子さんは香月さんのことを、よく山の話をし時にはスキーの格好をしたりと大変明るくやさしいお爺さんだったと話され、名乗り会えば良かったと残念がっていました。何と言う奇遇／不思議な縁を感じました。」

(山嶽寮 58 号掲載の塩崎さんの書き込み・一部省略)

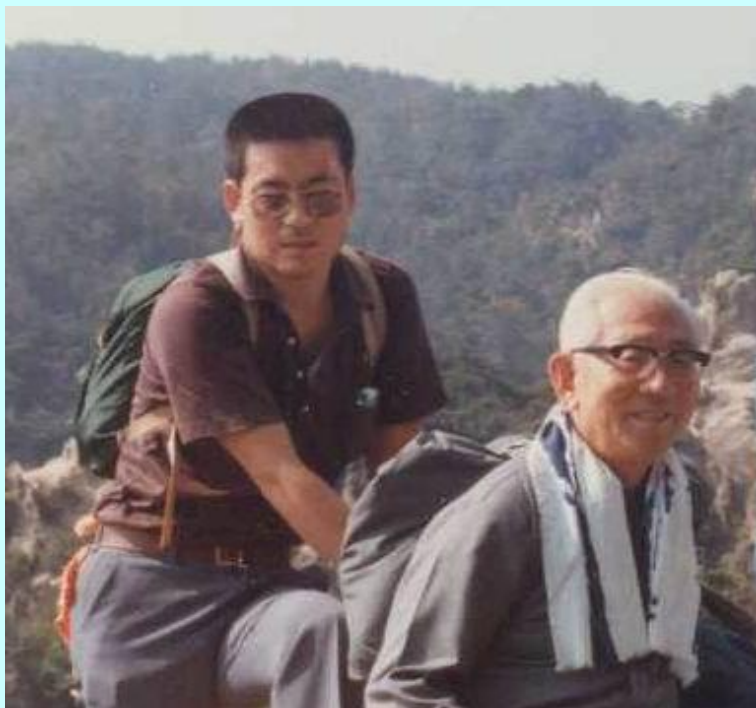
2 枚目は集合写真。

30 年近く前のことですからみなさんお若い。

「ロックガーデンの写真は昭和 57 年 10 月 31 日、山岳部創立 50 周年記念行事“家族ハイキング”の時のものと判明しました。集合写真の後ろの真中で腰に手をあてた香月さん、その右のサングラスが横山、右端が横山の奥さん嘉寿子さん、その左赤いショートパンツが横山の娘咲子さんだと思います。咲子ちゃんの左、あぐらをかいて座っているのはガチャさん？左端は越田さん？」

(山嶽寮 58 号掲載の塩崎さんの書き込み)

3 枚目は横山さんのケルン





Re: 懐かしの小窓尾根

投稿者：越田和男 投稿日：2010年 5月 11日(火)15時46分46秒

> No.1086[元記事へ]

小生いつも思うのですが、やっぱり「山の思い出は人の思い出」と繋がっていきます。

実は昨秋のこと、石原浩二君の案内で始めて室堂乗越に行き、横山ケルンにお参りしてきました。その日は生憎の天気で剣も見えず、写真もうまく撮れなかったのでそのままになってましたが、ここに添付する次第です。



Re: 懐かしの小窓尾根

投稿者：塩崎将美 投稿日：2010年 5月 11日(火)10時48分46秒

> [No.1084\[元記事へ\]](#)

横山 咲子さん

投稿ありがとうございます。

貴女のような会員以外の読者がおられる事はホームページの管理をしている者にとって大変うれしいです。
これからもこのHPを楽しんでください。

懐かしくてパソコンの古い写真を見ていたら散骨にご一緒した時の写真が残っていました。

(2003年9月29日、室堂乗越でケルンを積みました。)

塩崎



Re: 懐かしの小窓尾根

投稿者：横山 咲子 投稿日：2010年 5月 9日(日)21時 39分 16秒

> [No.1082\[元記事へ\]](#)

(塩崎将美さんへのお返事です。)

その節は大変お世話になりありがとうございました。

時々、山岳会ホームページ楽しみに拝見しております☆。

父の山現役時代の様子が、皆様山仲間の方々の話題の中に、時々ちらほら、出てくるのでうれしくて（へへ）。山の絆はすごいな☆と思いながら、楽しく拝見しております。

鶴木さんの“卒業できぬすぐ帰れ”の電報のお話は、小さいころ、父が何度も話していたのを思い出します（へへ）。懐かしく、思わず、メール投稿してしまいました☆。

ホームページ・アルバムの山写真もきれいですっ☆。

皆様のパワフルな山登り、すごいですっ（へへ）。

ホームページの元気な画像楽しみにしておりますっ m(..)m(へへ)/。

横山 咲子

小窓尾根

投稿者：DONNKICHI 投稿日：2010年 5月 8日(土)17時 17分 47秒

小窓尾根私も是非とも行きたかったですね。

残念ながら、お誘いがなかったので、ヒマラヤを3週間ほど放浪してきました。

本日みんな（平均70歳4人メンバー）元気にルクラに帰ってきました。

詳細は後日ご報告いたします。

ネパール、ルクラより

懐かしの小窓尾根

投稿者：塩崎将美 投稿日：2010年5月6日(木)18時59分26秒

現役3年の春山合宿、同期の鈴木と2年の浪川の3人で登りました。小窓王からのトラバースぎみの下りがかなりヤバかった事だけが記憶に残ってます。今回の写真を見せてもらいましたがこんな所登ったんかいなと思うばかりです。なんせ45/6年前の事です。三の窓で雪洞に寝ましたが計画にあったチンネは登った記憶無し。本峰までたどり着き、直下で雪洞を掘りましたが激しい雪で埋まりサブザックだけ持って夜中に逃げ出しましたが吹雪で歩けずツェルト被りビバーク。幸い翌日天気回復し早月を下りだしたら今亡き同期横山達サポート隊が上がって来てくれ無事生還できました。天気回復しなかったらと思うと今でも恐ろしい。私の山登りの中で一番ヤバかった出来事です。もうひとつの思い出は早月のBCまで下るとこの大学かは忘れましたが大学山学部の人サポートに来てくれていた6年生の鷗木さんに家からの電報を届けてくれました。"卒業できぬすぐ帰れ"鷗木さんはただちに下山、無事卒業されました。懐かしい懐かしい思い出です。

塩崎

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2010年5月6日(木)12時06分47秒

山本恵昭君から小窓尾根の写真が届きました。
アルバムにUPしました。

国際山岳連盟のスティーブ・ロング氏の講演会

投稿者：福田信三 投稿日：2010年5月6日(木)09時30分34秒

表記をご案内します。
<http://www.jwaf.jp/upload/info/235.pdf>

Re: 写真展

投稿者：越田和男 投稿日：2010年5月5日(水)10時07分18秒

> [No.1073\[元記事へ\]](#)

バブさんの写真展に集合して、作品を肴に中華街で一杯飲む会をやりましょう。
ご都合の付く方は是非ご参集ください。
5月24日(月) 16:30～会場に集合 17:00中華街へ移動

写真展

投稿者：福田信三 投稿日：2010年5月4日(火)19時55分49秒

米山さん
どうしてこの写真展、関西ではないのですか？
この雲はすごいですね、きれいというよりパワフル、モンゴル人の生きざまを思わせます。
可能であれば、うちの教会、カトリック六甲教会、で見せていただければうれしいです。
信徒にもモン狂(モンゴル・キチガイ)が居ます。さらに、鳥葬、風葬の研究家の先生も

います。いかがでしょうか

福田信三

小窓尾根

投稿者：福田信三 投稿日：2010年5月4日(火)19時39分40秒

いかにとが立っていようと、こんな登山が出来るなんて幸い者のみなさんです。
うらやましい限りです。この健康も、友情も、チャンスも、大切にしてください。
写真で楽しませていただきました。

大森さん、題名改定をお願いします
「おっさんたちの小窓尾根」⇒⇒「俺たちの小窓尾根」
カッコイイー。

小窓尾根

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年5月4日(火)17時54分27秒

久しぶりのメンバーでザイルパーティを組んで、小窓尾根に。
皆、昔とった杵は健在で、体力以外は完璧。そこが一番問題かも。
なにはともあれ、好天にも恵まれて予定通り3日間で行動を終え、無事下山しました。
昨夜は上市の川原で、下山中に採った葉ワサビとコゴミ、スーパーで購入した惣菜を肴に、小宴会。
仮眠後、渋滞にも会わず今朝帰宅しました。程よい緊張感を楽しむことができました。





おっさんたちの小窓尾根

投稿者：大森雅宏 投稿日：2010年5月4日(火)09時51分37秒

連休の小窓尾根、風がきつくて寒めでしたが好天と、トウがたっていますが好メンバーに恵まれました。先行パーティのトレースにも助けられ、無事に終了。

三人一盛 160 歳、おっさん連中で結構楽しく日に焼けてきました。

写真を添付します。(余裕のあるときだけ撮影・ということで核心部ヌキです)

ワタクシ個人的には、雪稜でバランスさっぱり、登りも下りも息と足がついて行かんワ、でした。

写真上から

・小窓尾根の取り付け

・早月の懸垂下降

・小窓尾根をバックに 左川野 右山本

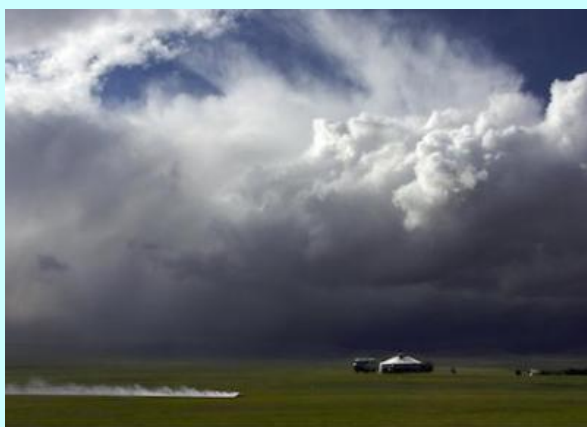




写真展

投稿者：米山悦朗 投稿日：2010年5月3日(月)08時25分33秒

今月22日から、写真展 風に吹かれて と題しモンゴルの写真を27点展示します。
バシヨは横浜港大栈橋付近山下公園前のトヨタのショールーム2階ギャラリーで良いところです。
ポスターを添付しますので御暇の方はおいで下さい。 判らなければ小生にメールで御問い合わせ下さい。



米山悦朗写真展
風に吹かれて
大草原を10,000キロ
2010.5.22 (金) -5.27 (土)

トヨタハートフルプラザ
ウエインズビル2階
横浜市中区山下町33

剣岳

投稿者：川野幸彦 投稿日：2010 年 4 月 30 日(金)20 時 34 分 25 秒

皆さんご無沙汰です。お元気ですか？

三年連続の剣岳です。小窓尾根は初めてです。まあ、大森さんと山本が一緒なので安心ですが。一人では無理なルートです。ただ、荷物が多く不安です。

福田さん、山岳保険の手続きありがとうございました。いつも申し訳ありません。今年も安全登山に努めます。

剣小窓尾根

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010 年 4 月 30 日(金)00 時 02 分 6 秒

明日の夜発で、大森さん・川野・私の 3 人で、剣岳小窓尾根を目指します。

同級生の川野とは数十年ぶりにザイルをつなぎます。気分は学生時代、体力は・・・？。

のんびり慎重に、無理せず楽しみたいと思います。

14 座達成の女性登山家

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010 年 4 月 27 日(火)21 時 05 分 6 秒

呉 銀善 1966～（オ・ウンソン 韓国）

4 月 24 日、残る 1 座アンナプルナ（8.091m）に登頂し 14 座に一番乗りしました。

四国の山旅

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010 年 4 月 25 日(日)21 時 48 分 49 秒

土曜日の朝、ふと思いついて妻と四国へ。三嶺と剣山、ジロウギウと登ってきました。

11 時に家を出て 1000 円で本四道路を抜け、ウロウロしながらまずは三嶺の麓の名頃へ 3 時に到着。約 2 時間の登りで山上の三嶺小屋へ。異常な寒波の影響で大変寒い。山上部の枝には霧氷が付き真白、足元には霜柱がサクサクと。小屋にはすでに先客が 9 名。内部も綺麗でトイレもあり快適な一夜を過ごす。

日曜日、山上の小屋だけあって小屋のすぐ横からお手軽にご来光。ゆったりと朝食後、15 分で三嶺山頂へ到着。快晴の中、360 度山また山のすばらしい展望。太平洋も見えているように思う。小屋へ戻ってすぐに下山し、車で移動。

今度は四国最高峰の剣山へ。登行リフトの誘惑に負けそうになるが片道 1000 円の料金を見て諦める。剣山山頂は人が一杯で早々にその先のジロウギウに足を運ぶ。こちらは静かな笹山。相変らず北斜面の木々には霧氷が付いているが、日向は暖かい。コヒーを沸かして優雅な昼食。のんびりと車に戻り、巨樹をいくつか巡りながら、神戸へ帰ってきました。

四国というと遠いイメージがありましたが、意外と近くて案外安く行けました。どちらの山も自然度が高く、広葉

樹と針葉樹のバランスが取れた立派な森がありました。まだまだ良い山が有りそうです。ご一緒にいかがですか。



秩父の山

投稿者：越田和男 投稿日：2010年4月24日(土)14時29分30秒

先日は総会、慰霊祭と大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

今週は天気のタイミングに絶妙に恵まれ、秩父の山で二日間。初日は芦ヶ久保・二子山 883m 翌日は群馬・埼玉県境の諏訪山 1207m. 泊まりの宿は小鹿野地区・赤谷温泉「小鹿荘」。適度な山歩きと花盛りの山里めぐり、ひなびた鉱泉宿の組み合わせを堪能した。同行はJ A Cの大橋夫妻と家内。

二子山頂からは西に巨大な武甲山、やや遠くに秩父の名峰両神山。諏訪山山頂からは、北に荒船山の台地の向こうに雄大な浅間山（噴煙は認めず）、遥か西方には懐かしの鹿島槍、北東には日光・男体山などの雪の諸峰、まじか南に両神山の岩峰群などが望めて大満足。

この春の天候不順のせいか、山里では桜が長持ちして満開。紅白の花桃、菜の花、れんぎょう、山吹、こぶし、芝桜・・・などなど、色とりどりに一斉に咲き誇っていました。

来週は連休の混雑前に会社仲間と丹沢を歩く予定。結構忙しいです。

みなさん連休は何処へ？

(無題)

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 4 月 22 日(木)22 時 00 分 51 秒

大森さん

どういたしまして

総会、慰霊祭ともにお会いできませんでした。

お忙しいですね

保険証受け取りの御知らせありがとうございました。

山岳保険

投稿者：大森雅宏 投稿日：2010 年 4 月 22 日(木)19 時 31 分 33 秒

福田様

保険のカードいただきました。

事務手続きお世話になり有難うございます。

保険はお世話にならずまた 1 年過ごしたいと思います。御礼まで。

山本さん (山岳保険)

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 4 月 22 日(木)10 時 30 分 14 秒

どういたしました。

郵便受け取りのお知らせありがとうございました。

山岳保険

投稿者：山本眞博 投稿日：2010 年 4 月 22 日(木)07 時 43 分 40 秒

福田様

山岳保険届きました。

毎年有難う御座います。

再開

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 4 月 20 日(火)09 時 22 分 51 秒

総会では大変お世話になりました。幹事のみなさん御苦労さまでした。

総会にコンマツが出てきたので驚きました。彼と会うのは 4 6 年振りす。

後藤君とは 3 年ほど前、留守中に電話もらいました。家内が 後藤さんから電話あった、と言われ、後藤なる名前にまったく思い当らず、お前の聞き違いと違うか、あんたこそボケが始まっているのでしょうか、と何時もの諍い。後日彼から電話がきて、よく聞いたら ゼンガクレン。びっくりしました。なんでも彼の知り合いが日本山岳会にいて、小生のこと聞いたらしい。それでちょうど暮れ時分だったので、忘年会開くからおいでよ、となって、かれが来ました。大関邸の花見会にはその時の縁がきっかけで大関さんの誘いで来た次第。

友あり遠方より来る、また楽しからずや、ですな。

コン松&ぜんがくれん

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 4 月 17 日(土)10 時 34 分 38 秒

小松／後藤兄、いずれも響きがとても懐かしい！！コン松、元気にやっとなるかナア。

コン松さん大歓迎です

投稿者：武田 雄三 投稿日：2010 年 4 月 16 日(金)21 時 30 分 52 秒

カンロクさん

小松さんと連絡取れた事喜んでます、是非・是非総会に出席方奨めて下さい。大歓迎です。

懐かしいコン松

投稿者：kannroku 投稿日：2010 年 4 月 16 日(金)16 時 11 分 45 秒

小松君(コンマツ) とメールのやり取りで総会のこと言いましたら懐かしがって、越田さん、藤安さん、大関さん、飯田、二谷等みなさんと会いたいものだとのことでしたので、総会に来たらと言っておきました。大関邸花見に後藤君が来たのもおどろきです。私は総会欠席ですが慰霊祭には参加いたします。

のんびりハイキング

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 4 月 15 日(木)17 時 34 分 5 秒

昨日、お稲荷さん-恵日山-光明峰-今熊野山-阿弥陀が峰と歩きました。J A C のゆるやか山行；東山 3 6 峰シリーズ其の一に参加、快晴で気分良く歩きました。

K A C の山本恵昭会員が神戸大学山岳会の名誉会員に成ったと聞き及び、嬉しかったです。

当ハイキングの報告を書くはめになり、きのうの写真（M A I L ですぐ見れました）を見ながら、一杯やりながら、書きはじめてます。

e: 花見会の 焚火

投稿者：大関 和夫 投稿日：2010 年 4 月 14 日(水)11 時 12 分 38 秒

> [No.1056\[元記事へ\]](#)

花見の頃は、昼の 2 時から 飲みはじめて 5 時頃になると、寒いので、焚火となります。

最近、ダイオキシン問題で、別荘でも、焚火は禁止のところ、あります。まして 住宅地ですので、焚火には、工夫が要ります。

長野の 田舎で 使われている、ブリキの 薪ストーブを 野外で 備えています。

伊那谷の ホームセンターで 3 9 0 0 円で 見つけて 買った 優れ物です。煙突を 取付けて 燃やします。

薪は、庭の 樹を チェーンソーで 整備してます。焚火と なると 昔とった 杵柄 グリンさんの 出番です。

甲南の 山登りに 焚火は思い出の ひとつ です。バブさんと 二人で行った カラコロムの ナンガ バルバットの メルヘンベアーゼ での

焚火は 良い 思い出です。暖かいのが 心に 残ります。

花見会

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 4 月 13 日(火)22 時 29 分 20 秒

越田さん

毎年の花見会、いい会ですね。

さて、後藤君は同期で懐かしく思います、

なぜその会を知ったのですか？

花見会

投稿者：越田和男 投稿日：2010年4月13日(火)13時30分22秒

先週土曜日、恒例の海老名・大関邸での花見会は今年も盛会。隣接の神社境内の残り桜花と満開の庭の石楠花が見事でした。いつもながら次々と供される大関の手料理と愉快的な会話で5時間強があつという間に過ぎた感じ。感謝感謝。

参加者13名。福井グリーンさん89歳ますます盛んで、勇気づけられます。初参加は昭和39年卒の後藤君と、神戸からの安井正君。この会の常連で毎年参加のJACの友人たち共々日も暮れて囲んだ焚き火から去りがたく、来年も元気に集まれるよう祈りながらの散会でした。

遠路参加の武田ゆうさんご苦労さんでした。

総会・慰霊祭

投稿者：井上 知三 投稿日：2010年4月10日(土)11時01分34秒

先日の総会・慰霊祭の参加者に私のミスで、大関 和夫さん・南里 章二さんの2名の掲載漏れがありましたので、お知らせするとともにお詫び致します。

尚、これで総会参加者はメールで返事をいただいております神戸 謙司 先生・掲示板の山本 恵昭さんを含め32名となります。また、慰霊祭は甲南中高生を含め27名程度です。

神戸にも climbing wall

投稿者：福田信三 投稿日：2010年4月10日(土)10時54分41秒

昨日、アメリカのclimbing wallのことを書いたばかりなのに、今日、神戸の好日山荘 神戸本店(今までの三宮店は3月一杯で閉店)にclimbing wall 12面ができた記事がありました。

<http://kobe.keizai.biz/headline/486/>

もう“岩登り”という言葉は消えたのでしょうか？

●climbing wall は王子公園の兵庫山岳連盟、六甲のモンベルにもあります。

climbing wall のレンタル

投稿者：福田信三 投稿日：2010年4月9日(金)10時03分39秒

イヤー、驚きました。アメリカの友人から“シカゴ近郊でclimbing wallのレンタルやっているとこがあるで。”との情報にHPを開いてみました。ありました。

<http://www.climbon.net/index.php>

スポーツどころか遊戯感覚です。是非ご覧ください。

まだ何も調べてはいませんが、日本でもこんな会社がありますか？

Re: 総会・慰霊祭 参加者

投稿者：越田和男 投稿日：2010年4月4日(日)12時18分45秒

> [No.1050\[元記事へ\]](#)

大関も参加といっていました。従って東京から大関、飯田、越田の3名参加。3名とも平生記念セミナーハウ

スに泊まります。総会までに新入生入部の朗報でもあれば良いのですが。よろしく。

Re: 総会・慰霊祭 参加者

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010 年 4 月 4 日(日)10 時 04 分 7 秒

> [No.1050\[元記事へ\]](#)

井上様

すみません。返信出し忘れていました。当日、仕事が入っていますので 5 時には間に合わないかもしれませんが、総会に参加させていただきます。

総会・慰霊祭 参加者

投稿者：井上 知三 投稿日：2010 年 4 月 4 日(日)07 時 01 分 28 秒

事務担当よりお知らせ致します。

参加者は現在（4/3）下記の通りです。

山本 三郎・平井 一正・國府 雄次郎・赤松 二郎・小川 守正・小原 耕治・宮本 侑・雨宮 宏光・鈴木 頼正・田辺 潤・鳥居 威男・芦田 匡平・越田 和男・藤安 賢一・二谷 和成・飯田 進・福田 信三・武田 雄三・村上 与利一・安井 正・伊丹 徳行・柏 敏明・浪川 純吉・石原 浩二・平井 幹男・中澤 章浩・川村 静治・伊藤 長次郎・森本 全彦・塩崎 将美・乾 恵美子・横山 嘉壽子・井上 知三
以上の方々です。（敬称略・順不同）

リンクの更新のお願い

投稿者：越田和男 投稿日：2010 年 4 月 2 日(金)13 時 55 分 38 秒

塩崎さん、福田さんの紹介にあった日山協のHPをリンク集に入れてくれると有難いです。ついでに現リンク集の内機能していないもの（J A C 関西支部、全世界紀行、山岳渉猟を追って）は削除するか更新しては如何でしょうか。

海外登山隊「クロニクル・トークショー」

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 4 月 2 日(金)09 時 54 分 39 秒

(社)日本山岳協会より表記の案内が月刊誌「登山月報」を通じてありました。

詳細は下記をご覧ください。関東の方は参加されやすいと思います。

<http://www.jma-sangaku.org/cominfo/50/cat112/>

尚、この山岳協会の HP は最近内容も充実、更新もタイムリイで、興味深い情報が掲載されています。

新人勧誘

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 4 月 1 日(木)07 時 36 分 58 秒

掲題に関連して、J A C 関西支部部報から下記を引いて見ます。何らかのヒントに成ればいいと思い、書き込みました。

平林克敏氏の言葉(同志社大学山岳部部員が 20 名にも)：若者の多様性に対応して

「トレッキング班」「高所登山班」「山スキー班」「岩登り班、フリークライミングを含む」の班編成の提案。

重廣恒夫氏の「4000山グランプリ 実施の提案」と称しての記述からの引用：
昨今の傾向として「山ガール」「アラサー アラフォー」と言った若い人たちの山登りが急増してます。彼らの登山との関わりをチャンスと考え、この波を上手く誘導したいと思います。波は未だ小波ですが、仕掛け次第では、ビッグウェーブとなって定着と拡大に繋がる可能性があります。どんな波に成るかは、これからの誘導にかかってます。

平林氏は常に、母校山岳部活動の復活を気にされておりましたが、同大山岳部の部員が増えた背景を、昨年秋の懇親会で熱く語っておられました。

重廣氏はJAC支部長として、支部の活性化、若返りを考え、60歳を超えても、自ら山にバリバリ登りながら、常日頃から、何かと提案されております。

新人勧誘

投稿者：越田和男 投稿日：2010年3月31日(水)18時35分19秒

お手伝いできませんが、よろしくお願いします。

若者、特に女性が、が山に戻ってきている気配です。是非甲南山岳部・山岳会の幅広く愉快地に山を楽しむ良き伝統を継承してもらいたいです。

Re: 新人勧誘ポスター@山岳部

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年3月30日(火)23時44分47秒

> [No.1043\[元記事へ\]](#)

カンリガルボ遠征、新勧用に利用できる場所があれば使ってください。

新人勧誘

投稿者：福田信三 投稿日：2010年3月30日(火)18時18分59秒

近く（バイクで3分）に居ますので、手伝いに行けますよ。

呼んでください。

新人勧誘ポスター@山岳部

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2010年3月28日(日)17時30分30秒

えーご無沙汰しております！

タニです。

年度末となりいよいよ入学式間近となってまいりました。

今年の入学式は4月1日（木）です。

それに先駆けて、本日新人勧誘用ポスターの製作の為、武田会長、安井さんにご協力いただき、添付写真のような立て看板が出来上がりました。（添付写真）

武田会長、安井さんどうも有難うございました。

しばらくの間、小生にて新人窓口対応させていただきますので、動きがございましたらこの BBS にてご報告させていただきます！



乗鞍岳 位ヶ原山荘

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 3 月 27 日(土)18 時 26 分 28 秒

1940 年オープンなんですね。この翌年が小生の誕生年、えっ、70 年??

<http://www.kuraigahara.jp/>

頼みもしないのにカレンダーは毎日めくられていきます。

そして止められません

乗鞍岳位ヶ原山荘

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010 年 3 月 26 日(金)09 時 39 分 15 秒

大阪ぼっぽ会の山本様；御投稿を拝見致しております。大変懐かしく、早速小生にとり初めての春山だった 1953 年 3 月の合宿の時の写真を見ました。残念ですが、山荘の写真が見当たりません。当時同行の甲南中・高山岳部のひと達に問い合わせしてみます。有難う御座いました。

アイガー 北壁

投稿者：大関 和夫 投稿日：2010 年 3 月 26 日(金)06 時 00 分 22 秒

アイガー 北壁 を 横浜の みなとみらい へ 観に 行きました。

大変に 良く出来た 映画です。山登りの 一番 輝いて 時代のお話です。ハラハラ ドキドキ の映画 でした。

資料提供のお願い

投稿者：大阪ぼっぽ会 山本

投稿日：2010年3月25日(木)12時54分59秒

ご無沙汰しております。大阪ぼっぽ会の山本です。早速ですが、3月の3連休に乗鞍岳に山スキーに行って、位ヶ原山荘に宿泊しました。その折、支配人の六辻 徹夫さんから頼まれ事を受けましたのでメールさせていただきました。頼まれ事の内容は、位ヶ原山荘が出来て今年で70周年になるので、昔の山荘の写真や資料を集めているので、お持ちの方は是非提供してほしいとの事です。特に甲南の方には昔からお世話になっているので、貴重な資料があるのではと期待されています。お心当たりの方は是非協力の程お願い致します。ちなみに今も山荘には一番大きな部屋が甲南ルームと名づけられています。連絡先郵便番号390-1512松本市安曇4085-95 電話090-9001-7362 乗鞍岳 位ヶ原山荘 支配人 六辻 徹夫

アイガー北壁

投稿者：越田和男 投稿日：2010年3月21日(日)18時54分7秒

映画「アイガー北壁」に関しては、今店頭販売中の4月号「山と溪谷」「岳人」ともに関連記事を掲載しています。映画ご覧になる方は、立ち読みしてから観るのも一興かと。
山と溪谷：フィリップ・シュテルツェル監督へのインタビュー記事
岳人：江本嘉伸さんの「トニー・クルツを知ってますか？」

ロックガーデン岩登り

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年3月20日(土)20時44分5秒

この連休、浪川さん、大森さんと新穂高から槍ヶ岳に行く計画でした。しかし、大荒れ天気予報のため、メンバーの年齢も考えて中止にしました。
急遽、六甲山に行くという川野に合流して、ロックガーデンに行ってきました。キャスルウォールを1本登ってもう満足。荒地山の岩小屋をのぞいて、風吹岩、保久良神社経由で岡本へ。
岡本の王将へ行き、餃子とビールで本日の消費カロリー以上にカロリー補給。
久しぶりの岩に緊張しましたが、楽しかったです。

アイガー北壁

投稿者：柏 敏明 投稿日：2010年3月19日(金)16時04分37秒

アイガー北壁の映画。明日より公開です。
シネ・リーブル梅田（神戸もあるようです）
タワーイースト3F
（大阪駅近くの上がつながっているツインタワー）
上映時間 11・45 14・10 16・35 19・00
26日までの上映は確定、それ以降は未定。
シネ・リーブル梅田のHPに映画の紹介が詳しく出ています。
小生は月曜日の11・45からを見に行くつもりです。

山岳 マンガ

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010年3月19日(金)10時41分17秒

マンガ『岳・ガク』石塚 真一作 が映画化されます。4年前大関に聞いて本屋で立ち読みし一冊だけ買いました。この山岳マンガ・シリーズは、なかなか良く出来ています。

現在までに累計発行部数 240 万部を突破した大ヒットコミックで、映画『岳・ガク』として 2011 年に公開されるそうです。

撮影は 2010 年 3 月 14 日に八ヶ岳でクランクイン。今後は八方尾根、奥穂高岳、立山連峰など標高 3,000 メートル級の日本アルプスを舞台に雪山ロケを行い、6 月クランクアップ予定。

山岳小説（フィクション）としては夢枕 獏『神々の山嶺』・集英社・1997 は傑作です。

物語は、エヴェレスト登山隊に参加した日本人カメラマン深町誠が、カトマンドウの街で偶然、一台の古いカメラを見つけたところから始まる。

そのカメラが 1924 年、エヴェレスト山頂を目指したまま帰らぬ人となったジョージ・マロリーが持って行ったカメラではないか、という書き出しにつられて最後まで一気に読みました。

この小説を材として谷口ジローが山岳漫画をビジネスジャンプ（集英社）で連載中です。1 2 本アイゼンの（爪）が精緻なペンタッチで描かれているのに感心しました。

ゴーストタウンの決闘

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 3 月 18 日(木)09 時 41 分 1 秒

懐かしいですね。悪党リチャード・ウイドマークに脅かされ、隠し金を掘り出すロバート・テラー。こんなこともあるかと一緒に埋めておいた拳銃を取り出し、さっと振り向いたら、すでにウイドマークは姿を消していた。そして決闘が始まった。

最近この種の西部劇がなくなった。くそおもしろくない映画ばかり上映おってからに。

映画

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 3 月 17 日(水)23 時 02 分 51 秒

平井さん

映画はいいですね。1 0 0 0 円で観られるので月に 2, 3 本は観ています。

先々週はインビクタス、先週はアバター、今週はハート・ロッカー、来週はシャーロック

ホームズ、その次はアイガー北壁となっています。こう見ると最近は結構いいのがありますね。

ゴーストタウンの決闘

投稿者：平井吉夫 投稿日：2010 年 3 月 16 日(火)22 時 35 分 36 秒

ロバート・テラー（善玉）、リチャード・ウイドマーク（悪玉）、監督はジョン・スタージス。もったりしたストーリー展開だけどバックの山が綺麗な映画。50 数年ぶりにビデオで見ました。そのなかのウイドマークの台詞。「ロッキー山脈はアルプスより美しいと言われている。アルプスに行くつもりだったが、行けなかったな。ジンクスがあるんじゃないか。銀行強盗をやりすぎるとアルプスにいけないうという」。コッシンたちと映画を見まくった時代を思い出して、ついこんな投稿をしました。

ビクトリアピーク

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 3 月 14 日(日)23 時 03 分 33 秒

へー、香港で登山は、ビクトリアピークヘトラムの脇の石段を登る事ぐらいと思っていました。低いからといって馬鹿には出来ないそうですね。六甲の大王山へ2万回以上登り続けている方の話が新聞にありました。とにかく毎日上っても50年以上かかるとの事で、尊敬とあきれを同時に感じます。しかし、やはり香港は登山より蒸し海老と点心ですね。そうそう今の時期は、蛇のスープ、絶品です。なつかしい。

香港のハイキング

投稿者：越田和男 投稿日：2010年3月13日(土)18時34分20秒

アルパインツアー社が香港へのハイキングツアーを出しており、興味があったので先週行って来ました。一行11名、たまたまJACでよく見る顔のF氏夫妻も参加しておられた。生憎の天気で眺望がもうひとつだったが、結構豊かな自然が残されており、大都市香港のイメージとはひと味違った一面を楽しませてくれた。居留外国人のみならず土着の香港人にも山歩きを楽しむ文化があるようです。

初日は、大陸側、九龍の北東の西貢（サイゴン）半島に槍ヶ岳の如く聳えるシャープ・ピーク（468m）。標高は低いが、海岸沿いに着けられたアプローチの遊歩道が結構アップダウンがあり、合計では1,000m位登った感じで最後にはバテバテ。海岸には廃村跡があったり、白浜に面してひっそりと数軒の集落があったりで風情もある。山小屋のようなところで食事を出す、さすが香港、ちゃんとしたコースで供されてびっくりした。野生の牛の群れにも遭遇した。

二日目は、香港島の南に浮かぶラマ島へフェリーで小一時間。ここは小さな漁村が二つあり、海鮮料理を食わすので、それを目当てに訪ねる人も多いとか。現在住民の9割が香港で仕事を持つ欧米人で、優雅に暮らしている。島内に車なし。適当なピークもあり遊歩道が張り巡らせている。一行は海拔250mの菱角山（リンコックサン）というのに登ったが、小生は前日バテたので、海鮮料理屋のある麓の村で一行を待った。頂上近くでデカイ蛇に出遭ったとかで、行かなくて良かった。盛り沢山の蒸し海老とビールに満足して帰りの香港島へのフェリーから見る大摩天楼の景観を楽しんだ。

小生は香港始めてだったので、3日目にはツアー一行と別れてもう3泊して香港の下町やマカオも覗いてみた。滞在中ずっと曇天で、ビクトリア・ピークも、空港のあるランタウ島の長いロープウェイもずっとガスの中だったので、天気にはあきらめがつき、変な話だが納得して帰って来た。

Re: 山岳保険

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年3月2日(火)19時48分36秒

> [No.1028\[元記事へ\]](#)

福田様

保険の手続き、有難うございました。

安全に気をつけて色々な自然を楽しみたいと思います。

山岳保険

投稿者：福田信三 投稿日：2010年3月1日(月)22時05分6秒

本日、下記の皆さんの更新手続きを完了しました。

田辺、武田、塩崎 浪川 大森 山本 M 山本 S 井上 川野 (順不同敬称略)

福田

Re: 甲南学園歌唱祭

投稿者：越田和男 投稿日：2010 年 2 月 27 日(土)10 時 01 分 12 秒

> [No.1006\[元記事へ\]](#)

鈴木頼正さんへのお返事です。

小生は遠隔地の住いの為、残念ながら参加出来ませんが、山岳部 O B の参加を呼びかけてほしいとの依頼が、幹事の関原義伸氏よりありました。山岳部山の歌の作詞者である伊藤愿さんは、野球部、ラグビー部の部歌の作詞もなさいました。それぞれなかなかいい歌です。ひとりでも多くの山岳部 O B の参加を期待します。(申し込み期日は過ぎてますが O K だとおもいます)

> 第 6 回甲南学園歌唱祭が 3 月 6 日(土) 午後 3 時～6 時 甲南大学平生記念セミナーハウスで開かれます、会費 3 千円軽食準備です。甲南高等学校寮歌として 7 つの寮歌、次に運動部 部歌 野球部、ラグビー部、陸上競技部、山岳部山の歌、剣道部の部歌を歌います、次に浪速高等学校、姫路高等学校、松江高等学校の寮歌、最後に甲南学園歌、甲南高等学校校歌です、柳沢さんが亡くなり、今は小原さんと宮本さんの二人が頑張っています、是非他の運動部に負けずに出来るだけ多数参加して、山岳部の存在を示そうではありませんか、ご協力下さい。申し込みは甲南大学同窓会、電話 0 7 8 - 8 4 2 - 0 3 5、FAX078-811-0366 に来る 2 月 20 日までに申し込んでください。服装は無料で貸してくれるそうです、又それぞれの歌詞は用意されています、小原、宮本先輩から宜しくとの事です。鈴木頼正も参加します。

お知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2010 年 2 月 23 日(火)16 時 58 分 25 秒

- 1) 先にご案内の「カラコルム／花嫁の峰」の DVD 申し込みを、本日締め切らせて頂きました。雨宮・田邊・鈴木の各氏より申し込みを頂いて居ります。
- 2) 本年の総会&慰霊祭は、4 月 17 日…総会、同 18 日…慰霊祭です。各位ご予定置きください。

山岳保険

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 2 月 21 日(日)23 時 31 分 38 秒

ガチャさん、川野君、山岳保険の件、了解しました。

福田

山岳保険

投稿者：川野幸彦 投稿日：2010年2月20日(土)18時05分15秒

福田さん

お元気ですか？

山岳保険代金（6200円）を、2/17（水）に振り込みました。

毎年、お忙しい中、ありがとうございます。今年も安全登山に努めます。

山岳保険

投稿者：田邊 潤 投稿日：2010年2月19日(金)14時04分11秒

福田さん

例年の通り加入いたします。

但し送金は来週2/26までに行います。家内にやらせますので。

あまりの忙しさに掲示板を見ておりませんでした。あやふく見逃すところでした。

ガチャ

DVD 手配

投稿者：武田 雄三 投稿日：2010年2月18日(木)20時22分49秒

鈴木 様

了解いたしました。

DVDブック購入依頼

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2010年2月18日(木)13時40分8秒

お世話かけますが京都大学学術出版会のカラコルム・花嫁の峰チョゴリザ一部お願いします。4月17日の総会時代金をお支払します。3192円プラス送料

お知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2010年2月18日(木)12時12分0秒

此の程京都大学学術出版会より創立20周年記念として、

DVDブック「カラコルム／花嫁の峰チョゴリザ」梅棹忠夫 監修 税込み3,990円＋送料300円

DVD2枚組&ブックセット函入り

が発売される事平井一正先生より案内あり、JAC会員割引20%オフ3,192円（税込み、送料300円別）で入手できるとの事です。

既に雨宮・田邊両氏には申し込み頂いておりますが、他にご希望の方が居られれば小生より取り纏め発注いたしますので、掲示板活用連絡下さい。

尚デリバリーは送料の無駄を避けたく、4月17・18日開催予定の山岳会総会 OR 慰霊祭にしようと思っています。

山岳遭難保険

投稿者：福田信三 投稿日：2010年2月16日(火)10時59分45秒

山岳保険の更新のご案内（最終）を繰り返します。

金額などは前年度と同額です。

納期は2月26日です。

加入タイプB：5200円＋共済会年会費1000円＝6200円

加入タイプS：3560円＋共済会年会費1000円＝4560円

軽登山Ⅱ：5000円＋共済会年会費1000円＝6000円

詳細は山岳共済のホームページをご覧ください。

<http://www.jma-sangaku.org/kyosai/premium/index.html#hikers>

ご希望の方は上記代金を下記の銀行口座にお振り込みください。

期限は2月26日とします。

三井住友銀行 住吉支店 普通 3907390 フクダ シンゾウ

以上、期限を順守してください。

入金の確認ができた方のみ手続きをいたします。

総会の時に会員証をお渡しできる予定です。

福田信三

ミサゴ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年2月14日(日)21時13分35秒

昨日、ぶらりと独りで神戸市西区の山田池・シブレ山ハイキングへ行ってきました。

山田池の岸边沿いのくねくね道を辿っていると、突然目の前の梢から白っぽいタカが飛び立ちました。魚食性のタカ、ミサゴでした。垂水の海岸で上空を飛んでいるのは見たことがありましたが、こんなに近くで見るのは初めて。

悠々と対岸の枯れ松に止まりました。

ダムの上で、ラーメンの昼食。ミサゴを見ながらの贅沢な時間を過ごしました。

いのししと共に

投稿者：福田信三 投稿日：2010年2月12日(金)22時48分52秒

私たち東灘区住吉台ではいのししと共生しています。

管理会社の朝の掃除はその糞拾いから。

毎日、公園や駐車場に数頭で現れ、ミズやどんぐりなどを

あさっています。人に害を加えることは殆どなし。

過去一人だけスーパーのレジ袋を噛まれたことがあります。

お互いに見て見ぬふり。しかし、夜中、道路での対面はドキッ。

春先、うり坊がチョロチョロ走る様は可愛いです。

猿にドラヤキやられた

投稿者：越田和男 投稿日：2010年2月12日(金)12時01分58秒

先日（2月8日）雪の三ツ峠を仲間と4人で楽しんだ時のこと。頂上南側の尾根上で富士北面の絶景に杯を上げたあと、ザックをデポして空身で頂上往復した。小一時間後に戻って来たところ、4人の内3人のザックの外ポケットのジッパーが開いており、中身がそこらじゅうに散乱していた。

てっきり人間の仕業と思った。全員貴重品はザックに残していなかったことに先ずは安堵したが、非常食のドラヤキとチョコレートが無い。ドラヤキのポリの空袋を見つけ大いに憤慨しながら下りにかかった。やがて雪中に猿の姿を認めてやっと猿の仕業だったと思い至ったが、近頃の猿はジッパーもポリ袋も簡単に開けるのにただただ感心。チョコは個包装なしの業務用棒チョコだったので猿には好都合だったかも。友の煙草ケースは爪痕を残してポイ捨てされていた。人間より賢いから煙草などに興味なし。

ザック本体はジッパーでなく、プラの留め具だったのでセーフ。人間だったらステン製のテルモスやチタン製の二重カップなど持っていくだろう。ジッパーの開けられていなかったザックは、ジッパーの上に布のカバーが付いていたために猿には開け難かったに違いない。ご参考まで。

Re: 映画「ノース・フェイス－アイガー北壁」

投稿者：越田和男 投稿日：2010年2月11日(木)21時41分30秒

> [No.592\[元記事へ\]](#)

福田さん紹介の映画「アイガー北壁」、お勧めです。是非ご覧になって下さい。小生は一昨年の秋に東京であったドイツ映画祭で既に観まして、いづれ一般公開されるだろうと思って、この掲示板に以下の投稿をした次第です。今回は横浜でも上映されますので(3月20日より「横浜ブルグ13」にて)、もう一度観ようかなと思ってます。どなたか一緒に、そのあとビールでも如何ですか。

以下は2008年10月31日付の投稿です。

> ドイツ映画祭というのが東京・新宿であり、トップバッターの標題の映画を観て来ました。

>

> ハインリッヒ・ハーラーらによる北壁初登攀の2年前、1936年夏に起こったの悲劇をセミ・ノンフィクションとして描写したもので、ハリウッド映画とは一味違った、さすがドイツの山岳映画(久々だが)と思わせるものでした。

>

> トニー・クルツ、ヒンターシュトイサーなど実名で登場します。ヒンターシュトイサーのトラヴァース・ルートとして今も知られている有名な振り子トラヴァースの場面もうそ臭くなく迫力に富み、トニー・クルツの壮絶な宙吊り死の場面なども史実を忠実に再現しているのではないかと感じました。

>

> ドイツで封切られたとこで、まだ日本での一般公開の日程は決まってないようです。本映画祭期間中にはもう一度上映されますので、在京の方はどうぞ。

> 上映時間 2 時間 1 0 分位

連絡

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 2 月 10 日(水)15 時 12 分 5 秒

安っさんへ

小生のメールアドレス それと違います。誰かに聞いてください。

映画「アイガー北壁」

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 2 月 8 日(月)22 時 25 分 15 秒

3 月 2 0 日封切 どうやら関西のシネーリーブルでの上映のようです。

<http://www.hokuheki.com/>

有馬 氷結滝散策

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010 年 2 月 7 日(日)20 時 00 分 52 秒

有馬温泉銀の湯のタダ券があったので、ついでに妻と有馬の氷結した滝の散策へ行ってきました。

まず七曲滝を下の谷から詰めて見学。ハイキング道から下りてきた中高年の団体さんが 3 0 人ほどいて、七曲滝下は大賑わい。横の氷結したルンゼをアイゼンを蹴り込んで登り、ちょっと満足。

七曲滝の落ち口へ出た後、踏み跡をたどり尾根ひとつ超えてクモ滝へ。これも横の凍ったルンゼを登り、谷を詰める。滝までは沢山の人が見学に訪れていましたが、滝の上には誰も上がってこないで、静寂そのもの。

最後は藪をこいで紅葉谷のハイキング道に合流し、下山。

有馬温泉で暖まって、帰ってきました。

六甲も、雪に包まれると一味変わって面白いですね。

雪見会 有難うございました。

投稿者：青木 宏安 投稿日：2010 年 2 月 1 日(月)16 時 30 分 27 秒

1 月 3 1 日大阪に帰りました。飯田さん始め、甲南の皆様には色々お世話になりました。来年も宜しくお願いします、又、柏さんの復活には嬉しいかぎりです。

雪見会 御礼

投稿者：小西啓右 投稿日：2010 年 1 月 29 日(金)13 時 25 分 10 秒

飯田さま、甲南の皆様、雪見会に参加させて頂きありがとうございました。

よく滑って、よく飲んで大変満足、充実していました。

帰りに寄った大町の山岳博物館、展望よく、展示物興味深くお勧めです。

来年またよろしく願いいたします。

山岳遭難・捜索保険のご案内

投稿者：福田信三 投稿日：2010 年 1 月 29 日(金)11 時 36 分 17 秒

表記保険の加入または更新の時期となりました。
金額などは前年度と同額です。

加入タイプ B : 5200 円 + 共済会年会費 1000 円 = 6200 円
加入タイプ S : 3560 円 + 共済会年会費 1000 円 = 4560 円
軽登山Ⅱ : 5000 円 + 共済会年会費 1000 円 = 6000 円

詳細は山岳共済のホームページをご覧ください。

<http://www.jma-sangaku.org/kyosai/premium/index.html#hikers>

ご希望の方は上記代金を下記の銀行口座にお振り込みください。
期限は 2 月 26 日とします。

三井住友銀行 住吉支店 普通 3 9 0 7 3 9 0 フクダ シンゾウ

以上、期限を順守してください。
入金の確認ができた方のみ手続きをいたします。
総会の時に会員証をお渡しできる予定です。

福田信三

鹿島槍・爺ヶ岳

投稿者：柏 敏明 投稿日：2010 年 1 月 28 日(木)09 時 52 分 11 秒

写真の貼付に失敗しました。
再度添付します。



やはり、「スキーは楽しいです。」

投稿者：柏 敏明 投稿日：2010 年 1 月 28 日(木)09 時 37 分 13 秒

飯田様、雪見会ご参加の皆様、色々とお世話になり有難うございました。

3 年振りのスキーと云うことと足の事もあり、心配をしていましたが
雨宮さんや飯田さんにご指導頂き、どうにか滑れることが出来ました。

山本さんのカンリガルボ遠征のスライド、又、ヒヨドリ峰ツアーの動画を
その日に前田館のテレビで見れるなんて、凄い時代になったものです。
それにしても、膝まである雪の斜面をスイスイと滑る姿をみて感心するのみでした。
この掲示板にも動画が載せられたらいいですね。小生もこれからの課題、
板に乗って急角度でなく大きく回れるように頑張りたいと思います。
今後もあきらめずご指導の程をお願いいたします。

皆さんと別れてから、田中さん、青木さん、小西さん、安さん、ドンキチさん達と
25 日は五竜・遠見、26 日八方で滑り、小生は最後に八方池山荘から黒菱、
リーゼンスラロームと滑って仕上げとしました。

最終日の 27 日は快晴無風。最高の天気でしたが 4 日連続滑ったので、
節々が悲鳴を上げており（無駄な筋肉を使っているため）
未練の残るドンキチさんを説得して、大町の山岳博物館を見学し、うまいそばを食って、
サラダ街道経由で帰りました。写真は山岳博物館から見た鹿島槍、爺ヶ岳です。

新しいメンバーも増え、昼も夜もますます楽しくなってきました。
これからも宜しくお願いします。有難うございました。

(無題)

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2010 年 1 月 27 日(水)18 時 43 分 0 秒

第 6 回甲南学園歌唱祭が 3 月 6 日（土）午後 3 時～6 時 甲南大学平生記念セミナーハウスで開かれます、会費 3 千円軽食準備です。甲南高等学校寮歌として 7 つの寮歌、次に運動部 部歌 野球部、ラグビー部、陸上競技部、山岳部山の歌、剣道部の部歌を歌います、次に浪速高等学校、姫路高等学校、松江高等学校の寮歌、最後に甲南学園歌、甲南高等学校校歌です、柳沢さんが亡くなり、今は小原さんと宮本さんの二人が頑張っています、是非他の運動部に負けないように出来るだけ多数参加して、山岳部の存在を占めそうではありませんか、ご協力下さい。申し込みは甲南大学同窓会、電話 0 7 8 - 8 4 2 - 0 3 5、FAX078-811-0366 に来る 2 月 20 日までに申し込んでください。服装は無料で貸してくれるそうです、又それぞれの歌詞は用意されています、小原、宮本先輩から宜しくとの事です。鈴木頼正も参加します。

雪見会に参加して

投稿者：南井英弘（K G A C） 投稿日：2010 年 1 月 27 日(水)18 時 25 分 24 秒

この度は3年ぶりに雪見会に参加させていただき感謝しています。

好天に恵まれ、4日間は素晴らしい仲間に出会った思い出に残る日々でした。

初日を終日特訓に費やして下さったアメさん、長年苦悩していたトンネルに一条の光をと自信を投げかけて下さったガチャさん、飯田先生はじめ暖かい眼差しで見守って下さった皆様に御礼を申し上げます。

また、素晴らしいK G - 2 初登頂のスライド映写をして下さった山本さま、大森さまにも御礼申し上げます。

K A Cの益々のご発展をお祈りしています

雪見会のお礼

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年 1月25日(月)22時29分15秒

飯田様、雪見会参加の皆様

大変お世話になりました。おかげさまで、充実した2日間を過ごすことができました。

相性抜群のゲレンデ用スキー靴が割れてしまったことは残念でしたが、長年愛用したので寿命だと諦めます。土曜夜のカンリガルポ遠征スライド上映の折には、石原さんをはじめ色々な方にご協力いただいて、皆様に無事スライドを見ていただくことができました。有難うございました。

日曜日には、小西さん（関学）、浪川さん、大森さん、谷くん、私の5人でツアーに。ヒヨドリ峰の西のピークから親沢源流に下り、登り直して黒川沢を下りました。膝ほどの新雪と輝く樹氷を堪能しました。

氷河の山も良いけれど、雪の森の中を徘徊するのも良いですね。

また、遊んでやってください。





三高逍遥歌：紅もゆる丘の花

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010年 1月25日(月)17時48分30秒

吉田山行き 参加です。

吉田神社は第三高等学校の守護神で、この山は同高の山らしいです。甲南で言えば

保久良神社と金鳥山、甲南バットレスとでも言うべきかな？甲南の

「嗚呼浅春の」で始まる逍遥歌も掲題の三高のそれにも勝ると思います。誰に教わったのか、定かに非ずも、
時たま口ずさんでますが。

京都東山No. 12 吉田山に

投稿者：kannroku 投稿日：2010年 1月24日(日)21時45分55秒

盛大なる雪見会、賑やかで楽しさ一杯ではと。いつの日か、仲間に入れていただきたく思っております。

2月4日(木) 吉田神社節分後日祭に参加し、吉田山 121mに登りに行きます。募集中！
集合場所 京都高島屋 1階入口 時間 12：00 費用約 3,000～5,000(酒代含む)

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010年 1月22日(金)08時20分22秒

山本君

いろいろありがとうございます。宜しく願います。小生これから出かけます。

では現地で。

Re: 雪見会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年 1月21日(木)22時44分8秒

> [No.999\[元記事へ\]](#)

大森さんがパソコンの都合をつけてくださることになりました。

プロジェクターを持っていますので、どこか壁にでも映して地図や写真を色々見ていただくことができと思います。

もし上手くいかなくても、テレビさえ有れば外部入力につないで写真は見るができます。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010年 1月21日(木)21時52分11秒

山本君

どのような機材がどう繋がるか分かりませんが、前田館の若主人は日立の技術者ですが、今回は不在。嫁さんどれだけ機械いじれるのかふめいです。小生わかっているのは、テレビがB Sつかえるくらいです。とにかく貴兄持ち合わせの資料ご持参してもらって、使えるものでやっていきたいと思います。ご面倒かけますが宜しく。谷君のクビツアンボも話題になるとおもいますよ。

Re: 雪見会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010年 1月21日(木)20時03分9秒

> [No.997\[元記事へ\]](#)

パワーポイントにまとめて学校で生徒に説明したものがあります。

ただ、私はノートパソコンを持っていません。

白馬館に借りることができるパソコンはありますでしょうか。

谷くんにも聞いてみます。

パソコン不可能な場合、私のデジカメをテレビに繋いで上映可能です。ただし、その場合は私の撮った写真だけになります。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 1 月 21 日(木)09 時 37 分 26 秒

山本恵昭君

今回 20 名ばかり集まりますが、貴兄の土産話聞きたがります。

清酒大雪採用意しますので、ほんのちょっと雪中閑談お願いします。

その折 DVD かなにか写真あればありがたいです。

宜しく。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 1 月 20 日(水)14 時 19 分 35 秒

青木さん、了解しました。

雪見会参加宜しく。

投稿者：青木 宏安 投稿日：2010 年 1 月 20 日(水)12 時 53 分 1 秒

飯田様毎度お世話になります。1 月 23 日午前中に到着予定ですので、宜しくお願い致します。1 月 23 日 24 日宿泊予定です。直前の連絡失礼致します

皆様にお会い出来るのを楽しみにして居ります。 甲南雪見会参加の皆様へ

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2010 年 1 月 19 日(火)00 時 59 分 26 秒

どたばたして申し訳ありません。0 時 35 分のアドレスを出して、あれこれクリックすると、動画を含めて素晴らしい映像が見られます。平井

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2010 年 1 月 19 日(火)00 時 35 分 0 秒

<http://www.spiegel.de/kultur/kino/0,1518,672209,00.html>

ナンガの映画

投稿者：平井吉夫 投稿日：2010 年 1 月 19 日(火)00 時 31 分 3 秒

メスナー「裸の山」を映画にした「ナンガ・パルバート」が今月欧州で公開されました。その一部がネットで公開されているので紹介します。メスナー騒動の関係者（ヘルヒコツファーの息子を含む）がメスナー寄りの見方に、たちまち抗議の声を上げて、またもや泥仕合が再燃しそうです。平井

Tragödie am Nanga Parbat: Das Schicksal der Messner- Brüder

ナンガの映画

投稿者：平井吉夫 投稿日：2010 年 1 月 19 日(火)00 時 22 分 34 秒

メスナー「裸の山」を映画にした「ナンガ・パルバート」が今月欧州で公開されました。その一部がネットで公開されているので紹介します。メスナー騒動の関係者（ヘルヒコツファーの息子を含む）がメスナー寄りの見方に、たちまち抗議の声を上げて、またもや泥仕合が再燃しそうです。平井

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 1 月 18 日(月)09 時 50 分 22 秒

山本君 了解しました。 玄関に部屋の番号書いた紙置いておきますので、勝手に部屋に入ってください。

雪見会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010 年 1 月 17 日(日)23 時 51 分 40 秒

飯田様

いつもながら、直前で申し訳ありませんが、雪見会に参加させていただきたいと思います。

大森さん、谷くん、山本の 3 名。

23 日朝着、朝食は食べてから行きます。

一泊で 24 日午後発の予定です。

よろしくお願いします。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 1 月 17 日(日)10 時 04 分 37 秒

安さんがスキーするとは、ほんまかいな。

大歓迎です。

雪見会

投稿者：柏 敏明 投稿日：2010 年 1 月 17 日(日)09 時 34 分 35 秒

飯田様 昨日、カンさん、井本さん。安井さんと

鶴木さんの所へ言ってきました。鶴木さんはお元気でした。

その帰り、安井宅にお邪魔し、ご馳走になった後、マージャン。

そのまま、泊めてもらい、今、朝食を終わったところです。

雪見会の話になったとき、安さんが今からでも間に合うなら

参加させて頂きたいとの話しになりました。

行動は我々と一緒、スキー、靴はレンタルで行きたいそうです。

遅くなって申し訳ありませんが今からでも宜しいでしょうか。

何かとお世話になりますが、レンタルの事も含めて宜しくお願いします。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 1 月 15 日(金)13 時 59 分 8 秒

武田さん了解。

メスナー「赤い信号弾」再刊

投稿者：平井吉夫 投稿日：2010 年 1 月 15 日(金)11 時 10 分 19 秒

1970年のナンガ・パルバート遠征直後に書かれ、長年発禁になっていたラインホルト・メスナーの「赤い信号弾」が今年の1月、40年ぶりに刊行されました。メスナーの序文と多数の写真で増補されてます。

雪見会

投稿者：武田 雄三 投稿日：2010年 1月15日(金)10時49分13秒

飯田様

小生は22日夕食より参加です、ヨロシク。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010年 1月15日(金)10時47分1秒

雨さん、了解しました。

雪見会

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010年 1月15日(金)10時30分18秒

飯田さん

1月22日の夕食から参加します。3泊4日で 25日帰阪。
雨宮 塩崎 岡 の3名です。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010年 1月14日(木)09時56分39秒

杵池高原は元旦に続いて13日も吹雪いていました。雪の神さんに聞いたら、そろそろスタミナ切れてきた、とおっしゃっていましたので、23日からは好天が望めそうです。

雪見会参加メンバー下に記しました。間違っていたら訂正願います。

22日

水渡（夫妻）大関 石原 南井 飯田 （浪川 柏 小西 武田 田辺）

23日

水渡（夫妻）大関 石原 南井 飯田 浪川 柏 小西 武田 田辺 田中 青木 岡

雨宮 塩崎

24日

南井 飯田 浪川 柏 小西 田辺 田中 青木 岡 雨宮 塩崎

25日

雨宮 塩崎

以上。敬称略 順不同

雪見会

投稿者：水渡清夫 投稿日：2010年 1月13日(水)15時36分34秒

飯田様

雪見会に参加いたします。参加者は大関さん、と水渡（夫婦で参加）の三名。前田館には22日の夕

食から24日の朝食までの2泊3日、お世話になります。24日の午前に帰ります。宜しくお願いいたします。

雪見会

投稿者：小西啓右 投稿日：2010年1月12日(火)23時19分55秒

飯田様

今年も雪見会お世話になります。浪川氏から連絡いていたと思いますが、青木の友人の井上夫妻は参加できなくなりました。したがって関学関係の参加は22日から南井、23日早朝着で小西が柏、浪川と23日午後から田中、青木 24日南井、田中、青木、小西 25日出発です。なお門脇は仕事の関係で直前まで決まりません。変更等いろいろあって申し訳ありません。よろしくお願いいたします。

(無題)

投稿者：田邊 潤 投稿日：2010年1月12日(火)07時36分48秒

飯田さん

いつものように1月22日金曜日会社終了後梅池へ出発します。到着は21～22時の予定です。玄関に部屋番号のメモを置いておいてください。宿泊は22、23、24日です。月曜日午後に帰ります。

ガチャ

雪見会

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010年1月11日(月)22時16分59秒

飯田くん

雨宮 塩崎 岡の3人は1月23日夕食から参加します。

前田館には23日夕食から26日朝食までお世話になります。

カンリガルポ学術登山隊支援甲南山岳会有志の会から

投稿者：。 投稿日：2010年1月10日(日)11時09分51秒

山本恵昭君の参加した神戸大学・中国地質大学合同カンリガルポ学術登山隊が昨年11月、目的のKG-2 (6,805m)に世界に先駆けて初登頂するという快挙を達成されました。

同隊ならびに山本恵昭君に対し、ご支援をお願いいたしましたところ、多数の方々からご賛同をいただきました。昨夏7月に当掲示板上でご支援のお礼(中間報告)を申し上げましたが、改めてご支援いただきました方々のお名前を紹介しお礼を申し上げます。

なお、山本恵昭君による報告は次号の山嶽寮に掲載される見込みですが、神戸大学山岳会サイト <http://kangrigarpo.blogspot.com/> にて登山隊の情報がご覧いただけます。

ご支援いただいた方々

名誉会員・顧問 山本 三郎 神戸 謙司

旧制高校 鷲尾 顕 小川 守正 福井 實

新制高校 米山 悦朗

大 学 阿部 公義 砂川 彰雄 雨宮 宏光 麻畠 重彦 鈴木 頼正

田辺 潤 芦田 匡平 伊丹 弘忠 鳥居 威男 越田 和男

廣瀬 健三 藤安 賢一 大関 和夫 飯田 進 二谷 和成

福田 信三 武田 雄三 村上 與利一 森本 全彦 奥山 正紀

竹中 統一 安井 正 水渡 清夫 伊丹 徳行 柏 敏明

塩崎 将美 鈴木 功 浪川 純吉 石原 浩二 南里 章二

矢吹 操 井上 知三 鷹巣 和則 山本 真博 平井 幹男

高橋 けい子 中澤 章浩 西村 清 松本 好博 松下 哲夫

大森 雅宏 要 裕晶 今井 啓介 川野 幸彦 大勝 規弘

青木 雅夫 八木 健 松山 弘和 谷 勇輝

特別会員 鈴木 敬吾

関西学院山岳会 小西 啓右

(神戸大学隊へのご支援・山本恵昭君へのご支援取りまとめ分 敬称略・順不同)

また、神戸大学・中国地質大学合同カンリガルボ学術登山隊よりご挨拶をいただいておりますのであわせてご披露します。

* * * * *

拝啓 新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年は神戸大学・中国地質大学合同崗日嘎布山群学術登山隊の派遣に際し、絶大なるご支援を頂き誠に有難い事と感謝いたしております。

学術登山隊はみごと KG-2 峰（現地住民が“ロブチン”と名づけてくれました）の初登頂に成功しましたが、山本恵昭登攀リーダーのご参加はもとより貴会の絶大なるご支援をいただき深く感謝いたしております。弊会の未熟な若手メンバーに手をとられてギリギリの状況でのアタックとなり、山本リーダーが登頂できなかったことは隊長として無念であり、お詫び申し上げます。しかし、一步間違ふと遭難という緊張したなかで、見事登攀リーダーとしての重責を全うされたことは賞賛に値します。撤収時に C1 よりアイスフォールの下まで出迎え彼と堅く抱き合ったときは心より感謝の気持ちで目頭が熱くなりました。

年末に神戸大学にて報告会を開催いたしました折には、ご支援いただいた方々とともに喜びを分かち合えたことを心より嬉しく思っております。この報告会の折に神戸大学の同窓会、学友会より新たに施行されました

褒賞制度「神戸大学の名を高らしめた個人、団体を顕彰し褒賞する」の第一号に選抜いただきました。この受賞は学術登山が「未知の探求」「パイオニア・ワーク」など、学問の探求と同様に価値あるもので奨励されたものと受け止めております。このたびの成功はこれで終わることなく、次なる目標に向けて鋭意努力してまい

る所存であります。

これを機会に両山岳会の親交が深まることを祈念いたします。

敬具

神戸大学・中国地質大学合同カンリガルボ学術登山隊実行委員長

神戸大学大学院農学研究科 教授 山形裕士

神戸大学山岳部 部長

神戸大学大学院理学研究科 教授 乙藤洋一郎

神戸大学山岳会 会長

井上達

男

御冥福を祈ります

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010年 1月 9日(土)07時 31分 57秒

汝（なれ）故に 楽しかりしや 去りし日々。合掌

M R井上徹は面識有りませんが、

確かゴルフ関係で雑誌に出ていたような気がしますね。

ロックガーデン

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010年 1月 9日(土)07時 10分 39秒

鷹狩りの写真を拡大して見えます。凄い迫力。歳をとっても、写真を撮るときは
元気一杯 バブ先輩。

米沢さん、写真ありがとうございました

投稿者：福田信三 投稿日：2010年 1月 8日(金)23時 23分 45秒

この寒い時期にまだ寒いところへ行かれる方がおられるとは。

しかし、いい写真をありがとうございました。NHKでモンゴルか、中近東かでの鷹狩りの放送を見たことがありますが、今でも生活の手段としてやっているんですね。大阪での展示もご検討ください。さらに、紀行文を山嶽寮へご投稿いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

マイナス35度での疑似ロッククライミング

投稿者：米山悦朗 投稿日：2010年 1月 8日(金)09時 34分 39秒

モンゴルに鷹狩りの撮影に行ってきた。マイナス35度、標高差500メートルくらいの岩山の頂上に鷹を連れて行き、狐やウサギを捕まえます。岩山はロックガーデンをもっと急にしたようなものでここにあがる為ガイド三人に手取り尻を押されて上り下りをして、必死の撮影でした。添付写真はそのときのものです。最後に時間が余ったので、ロシアとの国境近くの山岳地帯に行き、マルコポーロシープをみて来ました。そ

のときは立っていられないくらいのブリザードでハードした。 稜線まで上り遥か一キロくらい遠くでえさを食べているのをみましたが写真には写せませんでした。 写真はそときのブリザードの様子です。





愛妻の洋子が天国に

投稿者：井上 徹 投稿日：2010年 1月 7日(木)19時 33分 39秒

私の現役時代（昭和 38 年～40 年）ワンゲルの「モンコ」と山岳部の連中から尊敬の念をこめて（？）呼ばれた彼女との交際は有名でした。少しでも長く彼女と一緒にいる時間が欲しくて 3 年の春に退部しました。卒業と同時に結婚し、初めて出逢って約 47 年。正月早々の 3 日、最愛の洋子が私をおいて先に天国に旅たってしまいました。同期の皆様には、それなりにお世話になり有難うございました。神聖なこの場をお借りしご挨拶方々御礼を申し上げさせていただきましたことお許し下さい。

東山歩きのプラン

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2010年 1月 7日(木)17時 25分 2秒

昨年 1 2 月に第一番峰の比叡山に登り、今回は 3 6 番の稲荷山に行きました。
「東山 3 6 峰 草木も眠る丑三つ時 突如として起る剣戟の響き----」で有名ですが、お稲荷さんに行った 4 日は快晴、大変平安な日でした。

稲荷山 233m

投稿者：kannroku 投稿日：2010年 1月 6日(水)22時 11分 53秒

1 月 4 日東山 36 峰の一番南にある稲荷山に行ってきました。JR 稲荷駅から 2 時間半の散策で本殿にお参りした後、千本鳥居ぐり、三の峰、二の峰、一の峰と。一の峰が稲荷山で 233m です。稲荷神社はどんな信仰をも受け入れているとかが、にぎやかなゆえんなのでしょうか。ここまで来て伏見の酒を飲まずに帰られないと 4 人で酒蔵探訪。美味しい酒をたらふく飲んで解散。 次回は 2 月 3 日頃に 12 番吉田山、8 番瓜生山、9 番北白川山に
今回の参加者 鈴木・芦田・廣瀬・森本



雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 1 月 6 日(水)09 時 21 分 31 秒

石原君 了解しました。

雪見会

投稿者：石原 投稿日：2010 年 1 月 5 日(火)20 時 28 分 52 秒

飯田様

ご無沙汰しております。

梅池には 22 日昼頃着、24 日朝帰阪予定です。電車で行くつもりです。

宜しくお願いいたします。

石原

山も見ずに

投稿者：飯田 進 投稿日：2010 年 1 月 3 日(日)10 時 02 分 47 秒

雨さんの 山も見ずに帰国 を読んで、12 年前のよく似た話思い出しました。

当時日本山岳会から ブータンと中国 の国境にあるブータンの最高峰 ガンカーブンスム

の登頂申請を 中国登山協会にだして許可をもらいました。後援に読売新聞社がなって、いざ、というときに
なって、ブータンからクレームがつき、オジャンになりました。

国境にあたり、紛争地帯にあたりすると、気をつけねばなりませんね。

山も見ずに帰国

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010 年 1 月 3 日(日)00 時 24 分 13 秒

09 年 7 月。布加崗日（プージャカンリ）に東北大学・学友会・山の会が遠征したが、
入域を拒否され山も見ずに帰国しています。偵察して、準備して、募金までしてチベットにいったのに大変な

目にあいました。

2001 年偵察した布加崗日（ブージャカンリ）は、甲南の H P 山行報告をござんください。

今回の神戸大山岳会遠征報告文に、

「7 月下旬に東北大学がチベット登山協会の許可を得て念青唐古拉山群(Nyainqentanglha)の布加崗日（ブージャカンリ Buggy Kangri 6326m）に向かったが現地の治安に問題があったのか公安に入域を拒否された。」とあります。

東北大学・学友会・山の会のファイル チベット 2008 秋報告の地図で平井隊偵察ルートと記載されてるのが甲南が偵察したルートです。

東北大学・学友会・山の会

http://www.taav.org.tohoku.ac.jp/~taav/taav_j.htm

セブン サミット 極限への挑戦

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2010 年 1 月 2 日(土)23 時 27 分 5 秒

1 月 4 日 N H K テレビ 19 : 30

栗城 史多（くりき のぶかず）が 登攀の様子を動画映像で伝えます。

<http://kurikiyama.jp/profile.html>

謹賀新年

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2010 年 1 月 2 日(土)21 時 39 分 15 秒

明けましておめでとうございます。

昨年は、神戸大学・中国地質大学合同カンリガルボ山群学術登山の準備実行に明け暮れた一年でした。沢山の方々からご支援をいただき、感謝と恐縮の気持ちで一杯です。

初めての遠征隊参加ということで戸惑うことも沢山有りましたが、自分のできる範囲でベストを尽くしたつもりです。これからは、より自分らしい山登りを心がけたいと思います。

年末に、日本に滞在していた中国隊メンバーと有馬温泉に行ってきた。夕食後、日中各大学の歌の披露となりました。中国隊董隊長のお嬢さんはロシア留学の経験をいかしロシアの歌を披露してくれました。歌の苦手な私も行きがかり上逃げるわけにもいかず、甲南の部歌「山の歌」を珍しく独唱しました。ただし 1 番だけ。

その意味を説明するために簡単な英語に置き換えていると、山々の情景が手に取るように目に浮かんできました。普段は皆さんに合わせて何気なく声を出しているだけでしたが、今回改めてこの歌のすばらしさを認識しました。作詞の伊藤愿先輩は、山をとて奥深い所まで捉えておられた方だったのでしょうか。もし現代に生きておられたら、どのような山登りをされているのでしょうか。

謹賀新年

投稿者：越田和男 投稿日：2010年 1月 2日(土)11時 06分 53秒

本年も何卒よろしく。

昨日も今朝も我が家からの白雪の富士を望んでの祝い膳でご機嫌です。

昨年中の山を歩いた日数を数えてみたらわずか40日でした。学生時代は毎年100日強は歩いていたのに、もっと暇になった今その半分に満たないというのは如何にも不本意。今年はもっと行きたし。元日から家で酒飲んでるようじゃ駄目ですかね。

最近新聞や雑誌で登山ブーム再来との表現が見られるようですが、確かに山で若い人たちに会うことが増えた様な気がします。といっても大学山岳部復活につながる動きでは無さそうですが。

小生のゆっくりペースに我慢して、山に居ること事態を楽しんでくれる方、今年もよろしくお付き合いください。

謹賀新年

投稿者：川野幸彦 投稿日：2010年 1月 2日(土)09時 25分 50秒

新年！明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

塩崎さん、山記録のUPありがとうございました。お忙しい中申し訳ありませんでした。

正月は特に何もすることもなく、のんびりしています。アルコール漬けです。肥満に注意が必要です。

山は大雪のようですね。五六豪雪が思い出されます。事故が起きなければ良いのですが。飯田さんも豪雪で足止めですか。

今日はこれから福袋を買いに行こうと思います。まあ、これといって欲しい物はないのですが・・・。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2010年 1月 1日(金)14時 18分 6秒

謹賀新年

今年もよろしくお願いします。

雪見会 22, 23日を中心にその前後、柵池高原 前田館で行います。

日程決まった方、なるべく早くお知らせください。

この掲示板で結構です。本日柵池は豪雪スキーできません。